

地方独立行政法人福岡市立病院機構
平成28年度の業務実績に関する評価結果報告書

平成29年7月

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会

目 次

はじめに	1
第1項 全体評価	2
第2項 項目別評価	4
(1) 大項目評価	
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	4
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	7
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	8
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	9
(2) 小項目評価	
福岡市立病院機構の概要	13
全体的な状況	15
項目別の状況	22
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	
1 医療サービス	22
2 患者サービス	42
3 医療の質の向上	50
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	
1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実	62
2 事務部門等の専門性の向上	64
3 意欲を引き出す人事・給与制度等の導入	66
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	
1 経営基盤の強化	68
2 収支改善	72
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	
1 新病院の整備及び運営に関する取組	86
2 福岡市民病院の経営改善の推進	88
第5 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画	90
第6 短期借入金の限度額	90
第7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画	90
第8 剰余金の使途	90
第9 地方独立行政法人福岡市立病院機構の業務運営等に関する規則で定める業務運営に関する事項	91

※ 中期計画においては、第1から第4までの小項目評価の項目は、それぞれ第2から第5となる。

〈参考資料〉

○地方独立行政法人福岡市立病院機構 業務実績評価の方針	93
○地方独立行政法人福岡市立病院機構 年度業務実績評価実施要領	95

はじめに

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会は、地方独立行政法人法第28条の規定に基づき、地方独立行政法人福岡市立病院機構の平成28年度における業務実績の全体について総合的に評価を実施した。

評価に際しては、本評価委員会において、平成22年11月10日に決定した「地方独立行政法人福岡市立病院機構業務実績評価の方針」(93ページ参照)及び「地方独立行政法人福岡市立病院機構年度業務実績評価実施要領」(95ページ参照)に基づき評価を行った。

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会 委員名簿

	氏 名	職 名
委員 長	寺 坂 禮 治	福岡市医師会 副会長
副委員 長	福 田 治 久	九州大学大学院医学研究院 准教授
委 員	一 宮 仁	浜の町病院 院長
	花 岡 夏 子	福岡県看護協会 会長
	行 正 晴 實	公認会計士

第1項 全体評価

評価結果及び判断理由

〈評価結果〉

第2期中期目標期間の最終年度である平成28年度の業務実績に関する評価については、すべての小項目評価が「評価3」以上であることから、第1から第4の大項目評価はすべて「評価A」となる。

この大項目評価の結果を踏まえ、福岡市の医療施策として求められる高度専門医療・高度救急医療を提供するため、診療機能の更なる充実・強化に取り組んだこと、また、積極的な増収対策と費用削減により当期純利益を確保したことなどから、平成28年度の業務実績は「中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」と評価する。

〈判断理由〉

福岡市から独立した法人として、理事長を中心に、両病院と運営本部が一体となった経営体制を構築し、経営管理の徹底を図っている。

福岡市立こども病院においては、小児総合医療施設として、これまで培ってきた小児医療（高度・地域・救急）及び周産期医療の更なる充実を図るとともに、重症患者の円滑な受入れに取り組んでいる。また、福岡市民病院においては、地域医療計画における4疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞及び糖尿病）への対応を中心に高度専門医療の更なる充実を図るとともに、高度救急医療及び感染症医療の充実に取り組んでいる。経営面では、人員の適正配置や救急患者の受入体制の整備などによる増収対策に加え、費用対効果を考慮した診療材料等の選定や価格交渉の徹底などによる費用削減に取り組んでいる。

このような両病院と運営本部の取組により、市立病院機構全体で2億6,400万円余の当期純利益を確保し、経常収支比率の目標値を達成するとともに、前年度実績を上回る結果となっている。

項 目	評価項目数	ウエイトを考慮した項目数	小項目評価					大項目評価
			評価5	評価4	評価3	評価2	評価1	
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	14	24	2	17	5			A 計画どおり進んでいる
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	3	3			3			A 計画どおり進んでいる
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	6	11		2	9			A 計画どおり進んでいる
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	2	4	2		2			A 計画どおり進んでいる
合 計	25	42	4	19	19			

全体評価にあたって考慮した内容

〈主な取組や特色ある取組〉

福岡市立こども病院においては、循環器センター、周産期センター及び手術・集中治療センターを中心に、各部門間の密接な連携を図るとともに、重症患者の円滑な受入に取り組んでいる。また、「運動器センター」及び「国際医療支援センター」を設置し、医療機能の強化・充実を図ったほか、小児・周産期医療の更なる発展のため、「臨床研究部」を設置している。

福岡市民病院においては、医療法で定められた医療計画における4疾病への対応を中心に、「脳神経血管内治療部」の新設など診療体制の強化を図るとともに、循環器内科において「不整脈外来」を開始し、高度専門医療の更なる充実を図っているほか、新型インフルエンザ等発生時の事業継続計画(BCP)の整備など、感染症医療の充実に努めている。

両病院ともに地域医療支援病院としての役割を更に高めるため、地域の医療機関を中心に積極的な病病連携・病診連携に努めている。

さらに、災害発生に備え、防災訓練等の実施や非常用発電設備及び備蓄物品等の点検などを徹底したほか、4月に発生した熊本地震において、福岡市民病院は、九州自治体病院災害相互応援協定に基づく救援物資の提供や医療支援班等の派遣を行うとともに、福岡市立こども病院は、ヘリコプター等による救急搬送患者の受入を行うなど、迅速かつ効率的に対応している。

〈特筆すべき取組〉

両病院ともに外部コンサルタントを活用した診療材料等の調達に係る価格交渉の徹底、契約手法や委託業務の見直しの実施及びジェネリック医薬品の使用拡大などにより、費用削減に取り組んでいる。

福岡市立こども病院においては、効率的な病床管理による病床利用率の向上を図るとともに、重症患者の円滑な受入れに取り組んだ結果、入院収益は前年度を10億円余上回り、76億円余となっている。

その結果、福岡市立こども病院においては、経営に関する3指標(総収支比率、経常収支比率、医業収支比率)の目標をすべて達成し、当期純利益は2億6,300万円余となっており、経営基盤の強化・収支改善が図られている。

評価にあたっての意見、指摘等

〈福岡市立こども病院〉

- ・日本で初めての川崎病センターの設置はオリジナリティーがある。
- ・こども病院の入院単価、外来患者数、救急搬送件数は、年度目標を大幅に上回っている。
- ・一部の実績値が目標値に達成されていない場合においても、経営が大幅に改善されているなどの点を鑑みると、評価を上げることは妥当。
- ・新病院へ移転後、経営の回復を始め、救急患者の受入れや人材確保の取組など、広域的なこども病院として発展してきている。

〈福岡市民病院〉

- ・市民病院は、最先端の医療技術を導入されている。
- ・市民病院のメディカルラリーでの4回の優勝はすばらしい実績。
- ・市民病院の病院指標の作成及び公表は評価すべき取組である。
- ・市民病院の認定看護師の資格取得者数が多く、ケアの質の向上に貢献している。
- ・九州初のMERSの疑似症例患者の受入れや、熊本地震の対応、公立病院経営改革事例集での事例紹介とそれに伴う表彰を受けている点などを評価したい。

第2項 項目別評価

(1)大項目評価

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

評価結果 A（計画どおり進んでいる）

評価結果

「良質な医療の実践」「地域医療への貢献と医療連携の推進」「災害時等の対応」「患者サービスの向上」「病院スタッフの確保と教育・研修」「信頼される医療の実践」の項目において、年度計画の目標を上回る成果を上げており、全ての項目で年度計画どおり順調に実施している。

評価結果	S	A	B	C	D
	特筆すべき進捗状況にある	計画どおり進んでいる	おおむね計画どおり進んでいる	やや遅れている	重大な改善すべき事項がある

※ 評価A=小項目において全ての項目の評価が3～5

小項目評価の集計結果(評価した項目数)

項目	評価項目数	ウエイトを考慮した項目数	小項目評価				
			評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
1 医療サービス	5	9	2	5	2		
2 患者サービス	4	6		4	2		
3 医療の質の向上	5	9		8	1		
合計	14	24	2	17	5		

評価判断理由

①特筆すべき小項目評価

「1-(1) 良質な医療の実践 イ 福岡市立こども病院」

川崎病センター及び先天性心疾患の手術症例数は全国一位という成果をあげている。また、患者の増加等に対応した病床再編や既存のセンター並びに診療科における連携強化を図りながら、運動器センターや国際医療支援センターを新設するなど、良質な医療の提供を目指した取組がなされ、結果、1人1日当たり入院単価、新規入院患者数、救急搬送件数の大幅な伸びを見せていることを高く評価し、年度計画を大幅に上回って実施していると判断されるため、「評価5」とする。

「1-(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進 ア 福岡市立こども病院」

地域医療支援病院として、地域の医療機関からの積極的な紹介患者・救急搬送の受け入れに取り組んだことによる紹介率の増加、カンファレンスなどの定期開催や病院訪問、医師会との連携強化による開放型病床への登録医数の大幅な増加、また、周産期センターにおける緊急時対応体制の整備など、病病・病診連携に積極的に取り組んでいることから、年度計

画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

「1-(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進 イ 福岡市民病院」

病院の情報発信や開放型登録医への訪問などにおいて地域の医療機関に対する効果的な手法を検討して取り組むとともに、新規医療機関を中心とした積極的な訪問の実施により、開放型病床への登録医数は大幅に増加しており、紹介率、逆紹介率などすべての指標において実績値が目標値を上回っていることから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

「1-(3) 災害時等の対応」

災害発生に備えた訓練の実施や防災マニュアルの見直し、事業継続計画の策定を行い、メディカルラリーへの継続的な出場や優勝によるスキル向上に取り組むとともに、熊本地震においては、福岡市民病院の救援物資の提供、入院患者の搬送支援、延べ100人の医療支援班の派遣、福岡市立こども病院の延べ16人の医師の派遣、ヘリコプターや救急車による救急搬送患者の受入れ等を迅速かつ効率的に行い、また、震災支援のために熊本市市民病院から看護師9人の受入れを行うなど、市立病院としての役割を十分に果たしていることから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

「2-(1) 患者サービスの向上 ア 福岡市立こども病院」

退院時アンケートの結果等を踏まえ、西鉄バスの増便や自動販売機の設置など、さまざまな患者サービス向上の取組を行うとともに、療育相談窓口の設置による相談業務の強化やホームページでの24時間外来診療予約の一部試行による患者の利便性の向上を図り、また、国際医療支援センターを開設し、外国人患者の円滑な受入体制の整備を進めていることから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

「2-(1) 患者サービスの向上 イ 福岡市民病院」

外来の待ち時間の短縮や待合スペースの充実を図り、入院ベッドの更新などによる療養環境の整備に取り組み、入院患者満足度調査の平均点は高い点数を維持している。また、病院指標の新規作成及び公開により、患者サービスを含む医療の質の向上に向けて日々改善を行っていることから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

「3-(1) 病院スタッフの確保と教育・研修 ア 福岡市立こども病院」

医療情報室の設置による研究体制の充実や、看護学生等を対象としたインターシップ及び病院説明会の開催による人材確保に努め、新人看護師職員向けの研修、職員の資格取得の奨励、認定看護師等資格取得支援制度に基づく支援の実施によりスタッフの専門性の向上を図るとともに、勤務体制の見直し及び院内保育所の時間の延長など、職員の福利厚生者の充実にも取組み、また、院内研修においては、外部講師の活用を図りながら、接遇・感染対策・防災・メンタルヘルスなど多岐に渡る研修を実施し、外国人患者の円滑な受入れのための研修等も実施されていることから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

「3-(1) 病院スタッフの確保と教育・研修 イ 福岡市民病院」

神経内科医(脳血管内治療専門医)1人, 薬剤師2人, 臨床検査技師1人の増員により高度専門医療の充実を図るとともに, 7対1看護体制を確保するための看護師の増員など人材確保に努めており, また, ワーク・ライフ・バランス推進委員会の取組により, 年休取得率も向上し, 新規採用職員を対象とした採用研修の実施や, 全職員に対する複数の教育研修の実施など院内研修の充実を図っており, 認定看護師等資格取得支援制度の利用促進による認定看護師の資格取得者も多く, スタッフの専門性向上に努めていることから, 年度計画を上回って実施していると判断されるため, 「評価4」とする。

「3-(2) 信頼される医療の実践 ア 福岡市立こども病院」

感染対策における連携強化や, 研修の実施による医療安全対策の徹底, クリニカルパスの電子化やその活用により患者中心の医療の実践のためのインフォームド・コンセントの徹底も図られており, 患児の発達サポートの継続的な活動や治験管理室の設置など, 安全・安心な医療を提供するための体制整備に取り組んでいることから, 年度計画を上回って実施していると判断されるため, 「評価4」とする。

「3-(2) 信頼される医療の実践 イ 福岡市民病院」

環境ラウンド等による院内感染防止対策の徹底を図り, インシデント報告システムの改修, RRSの基準の明確化や院内ルールの周知による件数の増加, クリニカルパスの活用や院内急変症例等の多職種でのカンファレンスの開始, ホームページを活用した治療内容の可視化に努めるとともに, 薬剤管理指導・栄養食事指導件数の実績値が目標値を上回ったことなどから, 年度計画を上回って実施していると判断されるため, 「評価4」とする。

②その他考慮すべき事項

特になし。

評価にあたっての意見, 指摘等

- ・日本で初めての川崎病センターの設置はオリジナリティーがある。
- ・こども病院の入院単価, 外来患者数, 救急搬送件数は, 年度目標を大幅に上回っている。
- ・一部の実績値が目標値に達成されていない場合においても, 経営が大幅に改善されているなどの点を鑑みると, 評価を上げることは妥当。
- ・市民病院は, 最先端の医療技術を導入されている。
- ・市民病院のメディカルラリーでの4回の優勝はすばらしい実績。
- ・市民病院の病院指標の作成及び公表は評価すべき取組である。
- ・市民病院の認定看護師の資格取得者数が多く, ケアの質の向上に貢献している。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

評価結果 A (計画どおり進んでいる)

評価結果

理事会の決定方針に沿った運営を行うとともに、両病院とも院長のリーダーシップの下、機動性が高く、自律性を発揮した病院経営を行っており、年度計画を順調に実施している。

評価結果	S 特筆すべき進捗 状況にある	A 計画どおり進ん でいる	B おおむね計画ど おり進んでいる	C やや遅れている	D 重大な改善すべ き事項がある
------	-----------------------	---------------------	-------------------------	--------------	------------------------

※ 評価A=小項目において全ての項目の評価が3~5

小項目評価の集計結果(評価した項目数)

項 目	評価 項目数	ウエイト を考慮 した 項目数	小項目評価				
			評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1
1 自律性・機動性の高い運営管理体制 の充実	1	1			1		
2 事務部門等の専門性の向上	1	1			1		
3 意欲を引き出す人事・給与制度等 の導入	1	1			1		
合 計	3	3			3		

評価判断理由

①特筆すべき小項目評価
特になし。

②その他考慮すべき事項
特になし。

評価にあたっての意見, 指摘等

特になし。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

評価結果 A (計画どおり進んでいる)

評価結果

様々な増収対策や費用削減に取り組んだ結果、市立病院機構全体で当期純利益を確保し、経常収支比率は前年度を上回るなど、年度計画を順調に実施している。

評価結果	S 特筆すべき進捗 状況にある	A 計画どおり進ん でいる	B おおむね計画ど おり進んでいる	C やや遅れている	D 重大な改善すべ き事項がある
------	-----------------------	---------------------	-------------------------	--------------	------------------------

※ 評価A=小項目において全ての項目の評価が3~5

小項目評価の集計結果(評価した項目数)

項 目	評価 項目数	ウエイト を考慮 した 項目数	小項目評価				
			評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1
1 経営基盤の強化	2	3			3		
2 収支改善	4	8		2	6		
合 計	6	11		2	9		

評価判断理由

① 特筆すべき小項目評価

「2-(1) 増収 ア 福岡市立こども病院」

効率的な病床管理による病床利用率の向上を図り、集中治療系病床の再編などにより重症患者の円滑な受入れに取り組むとともに、人員体制の整備などによる施設基準の取得などの増収対策により、入院収益が前年度比10億円の増となったことから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

②その他考慮すべき事項

特になし。

評価にあたっての意見、指摘等

・九州初のMERSの疑似症例患者の受入れや、熊本地震の対応、公立病院経営改革事例集での事例紹介とそれに伴う表彰を受けている点などを評価したい。

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとすべき措置

評価結果 A (計画どおり進んでいる)

評価結果

福岡市立こども病院においては、重症度の高い症例の円滑な受入体制の整備を進めており、福岡市民病院においては、高度専門医療の更なる充実により当期純利益を確保するなど、年度計画を順調に実施している。

	S	A	B	C	D
評価結果	特筆すべき進捗状況にある	計画どおり進んでいる	おおむね計画どおり進んでいる	やや遅れている	重大な改善すべき事項がある

※ 評価A=小項目において全ての項目の評価が3~5

小項目評価の集計結果(評価した項目数)

項目	評価項目数	ウェイトを考慮した項目数	小項目評価				
			評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
1 新病院の整備及び運営に関する取組	1	2	2				
2 福岡市民病院の経営改善の取組	1	2			2		
合計	2	4	2		2		

評価判断理由

①特筆すべき小項目評価

「1 新病院の整備及び運営に関する取組」

運動器センターの新設による医療機能の充実や医療従事者の確保による診療体制の構築が着実に図られており、この2年余りでフル稼働に近い状態にまで至っている。また、収支面では効率的な病床管理等により黒字化を果たすなど、短期間で経営の健全化が図られたことを高く評価し、年度計画を大幅に上回って実施していると判断されるため、「評価5」とする。

②その他考慮すべき事項

特になし。

評価にあたっての意見、指摘等

・新病院へ移転後、経営の回復を始め、救急患者の受入れや人材確保の取組など、広域的なこども病院として発展してきている。

(2)小項目評価 別紙のとおり

(別紙)

**地方独立行政法人福岡市立病院機構
平成28年度の業務実績に関する評価結果**

小項目評価

福岡市立病院機構の概要

1 現況（平成28年4月1日現在）

① 法人名

地方独立行政法人福岡市立病院機構

② 本部の所在地

福岡市東区香椎照葉5丁目1番1号

③ 役員の状況

役員	氏名	備考
理事長	竹中 賢治	福岡市民病院 院長
副理事長	原 寿郎	福岡市立こども病院 院長
理事	石原 進	九州旅客鉄道株式会社 相談役
	久保 千春	九州大学 総長
	石井 幸充	前 福岡市代表監査委員
	青木 知信	福岡市立こども病院 副院長
	東 秀史	福岡市民病院 副院長
	塚崎 恵子	福岡市民病院 看護部長
監事	伊達 健太郎	弁護士
	久留 和夫	公認会計士

④ 運営する病院

病院名	所在地	病床数
福岡市立こども病院	福岡市東区香椎照葉5丁目1番1号	一般病床 239床
福岡市民病院	福岡市博多区吉塚本町13番1号	一般病床 200床 感染症病床 4床

⑤ 職員数

（平成28年5月1日現在）

区 分	職員数
合 計	895人
福岡市立こども病院	517人
福岡市民病院	366人
運営本部	12人

2 基本的な目標等

地方独立行政法人福岡市立病院機構は、地方独立行政法人制度の特長である自律性、自主性を最大限に発揮し、医療制度改革や診療報酬改定など医療を取り巻く環境の変化に迅速かつ柔軟に対応しつつ、効率的な病院経営を行いながら、地域の医療機関等との機能分担や連携の下、引き続き高度専門医療、救急医療等を提供し、地域における医療水準の向上、市民の健康の維持及び増進に寄与すべく、以下の基本理念及び基本方針の下、福岡市長から指示された中期目標を達成する。

〈基本理念〉

いのちを喜び、心でふれあい、すべての人を慈しむ病院を目指します。

〈基本方針〉

質の高い医療の提供

地域・社会に貢献する病院

健全な病院経営

1 法人の総括と課題

法人設立7年目となる平成28年度については、福岡市から示された第2期中期目標期間の最終年度となることから、中期目標の達成に向け、過去3年間の業務実績の更なる向上を目指し、医療機能の強化や経営の効率化等に取り組んだ。

福岡市から独立した法人として、地方独立行政法人制度の特長を最大限に生かした自律的な経営が求められていることを踏まえ、理事長を中心に、両病院と運営本部が一体となった運営を行うとともに、外部理事を含む理事会を定期的で開催し、経営管理の徹底を図った。

これらの経営基盤の下、第2期中期計画及び平成28年度の年度計画に基づき、こども病院においては、これまで培ってきた小児医療（高度・地域・救急）及び周産期医療の更なる充実を図るとともに、重症患者の円滑な受入れに向け、集中治療系病床の再編や新たにMFICU（母体・胎児集中治療室）6床を設置するなど、患者のニーズや医療環境の変化に即して、診療機能の見直しを図った。

また、福岡市民病院においては、4疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞及び糖尿病）への対応を中心に高度専門医療の更なる充実を図るとともに、高度救急医療並びに感染症医療機能の充実に努めた。

また、両病院ともに地域医療支援病院としての役割を踏まえ、積極的に地域の医療機関との連携強化に取り組み、地域医療への貢献に努めた。

経営収支面では、増収対策として、人員の適正配置や救急患者の受入体制の整備などを通じて、病床利用率の向上や手術件数の増加などに努めるとともに、コストパフォーマンスを考慮した診療材料等の選定や価格交渉の徹底など費用削減に取り組んだ結果、当期純利益はこども病院において2億6,300万円余、福岡市民病院において80万円余となった。

今後の課題としては、こども病院においては、求められる高度小児医療、小児救急医療及び周産期医療を提供する病院としての役割を果たしていくため、必要な病床数や医療機能等について、医療環境の変化を踏まえながら、検討を進めていく必要がある。

また、福岡市民病院においては、地域医療構想、医療計画にて求められる高度専門医療並びに救急医療体制を提供するために必要な取組を継続して行うとともに、災害・新型インフルエンザ等発生時やその他の緊急時には、事業継続計画に基づき、福岡市及び関係機関との連携の下、市立病院として求められる役割を果たす必要がある。

2 大項目ごとの特記事項及び各病院の取組状況

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

(1) 医療サービス

福岡市の医療施策として求められる高度専門医療、高度救急医療等を引き続き提供するために、診療機能の更なる充実を図った。

こども病院においては、循環器センター、周産期センター及び手術・集中治療センターを中心に、各部門間の密接な連携に基づいた医療を実践するとともに、集中治療系病床の再編やMFICUの設置などにより、重症患者の円滑な受入れに取り組んだ。また、4月から新たに「運動器センター」及び「国際医療支援センター」を設置し、医療機能の強化・充実を図ったほか、小児・周産期医療の更なる発展のため、臨床や治験にも積極的に取り組むことを目的として「臨床研究部」を設置し、文部科学省から研究機関の指定を受けた。

福岡市民病院においては、医療法で定められた医療計画における4疾病への対応を中心に、「脳神経血管内治療部」の新設など診療体制の強化を図るとともに、循環器内科において「不整脈外来」を開始し、経皮的カテーテル心筋焼灼術の本格導入など高度専門医療の更なる充実を図った。また、地域医療連携室を中心に救急受入体制の更なる充実を図ったほか、新型インフルエンザ等発生時の事業継続計画（BCP）の整備など、感染症医療機能の充実に努めた。

両病院ともに地域医療支援病院としての役割を更に高めるため、開放型病床への登録医の拡大やオープンカンファレンスの開催などを通じて、地域の医療機関を中心に積極的な病病連携・病診連携に努めた。

さらに、災害発生に備え、防災訓練等の実施や非常用発電設備及び備蓄物品等の点検など徹底したほか、4月の熊本地震においては、福岡市民病院では、九州自治体病院災害相互応援協定に基づく救援物資の提供や医療支援班等の派遣を行うとともに、こども病院では、ヘリコプター等による救急搬送患者の受入れを行う等、迅速かつ効率的に対応した。

(2) 患者サービス

患者一人ひとりに質の高い医療及び充実した看護を提供することが患者サービスの基本と捉えたうえで、より一層の接遇改善を含め、職員が一丸となって患者サービスの向上に取り組むとともに、ボランティアの協力も得ながら患者満足度の向上に努めた。

こども病院においては、一部診療科においてホームページによる24時間外来診療予約を試行開始したほか、在留外国人患者の言語サポートや説明文書の翻訳等の整備など、更なる患者サービスの向上に努めた。

福岡市民病院においては、会計ピーク時に担当者を増員し、待ち時間短縮を図ったほか、外国人患者の受入体制の整備等を図るため、5か国語に対応した「通訳用タブレット端末」を導入するなど、院内環境の整備を進めた。

(3) 医療の質の向上

病院スタッフの確保と教育・研修の観点から、こども病院においては、意欲ある人材を確保するため、看護学生等を対象にインターンシップや病院説明会を開催するとともに、各種研修をはじめ、全職員向けの医療英語研修会や外国人患者についての異文化理解セミナーを開催するなど、職員の資質向上に努めた。

福岡市民病院においても、医師や看護師をはじめ優れた人材の確保に努めるとともに、年休の取得率向上などワーク・ライフ・バランスの推進に継続的に取り組んだほか、認定看護師等資格取得支援制度の利用を促進し、専門職としての知識・技術の向上を図った。

また、両病院ともに院内の感染防止対策や医療安全対策の強化を図ったほか、薬剤管理指導や栄養食事指導・相談を充実し、安全安心な医療の提供に努めた。

さらに、市立病院としての使命を適切に果たすため、職員の服務規律を徹底し、法人職員として有すべき行動規範と倫理観の確立に努めるとともに、「病院指標」の公開や、ホームページ・広報誌等による積極的な情報発信を行った。また、こども病院において、初の試みとなる参加・体験型の「こども病院フェスタ」を開催するなど、市民に開かれた病院づくりに努めた。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

(1) 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実

平成28年度は計10回の理事会を開催し、法人の経営方針を決定するとともに、適宜、経営管理諸表による経営状況の把握や年度計画の進捗状況を管理し、業務執行の適確性の検証はもとより、経済性・効率性の追及を徹底した。

また、病院長のリーダーシップの下、執行部会議や経営五役会議の開催等により、各病院の現場の実態に即した迅速かつ効果的な経営を行った。

(2) 事務部門等の専門性の向上

マネジメント能力向上等を目的に、全職種を対象とした監督者研修や主任級職員研修を実施したほか、院内研修の定期的開催や、外部研修の受講を積極的に推奨するなど、経営感覚に優れた事務職員の育成に努めた。

(3) 意欲を引き出す人事・給与制度等の導入

医師以外の管理職を対象とする管理職目標管理制度を引き続き試行実施し、将来的には職員の業績や貢献度等を給与に反映できるよう、本格実施に向け検討を進めた。また、他の企業等における先行事例を踏まえながら、有期職員の無期雇用労働契約への転換等に関する制度構築に向け検討を進めた。

福岡市民病院においては、ワーク・ライフ・バランス推進委員会において、全職員を対象とした人事制度説明会を開催したほか、年次有給休暇の取得率向上に向けた取組を実施するなど、職員が働きやすい職場環境づくりに努めた。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

(1) 経営基盤の強化

法人の経営幹部（理事長，副理事長，運営本部長，各病院の事務部長及び看護部長）で構成する「経営会議」を毎月開催し，月次の経営管理諸表を作成して，随時，経営状況の検証を行い，課題に応じた適切な改善策を講じるとともに，各病院においても，会議等を通じて，各部署の課題や取組方針等についての情報を共有化し，また，各診療科への院長ヒアリング等を実施するなどにより，経営に関する目標達成状況の把握・管理を徹底した。

また，自己財源の確保対策として，収支改善による利益の確保とともに，積立金の運用方法を工夫するなどにより積立金の運用利益を確保したほか，価格交渉の徹底等により必要な医療機器を確保しつつ費用の抑制を図るなど，効率的な予算執行と自己財源の確保に努めた。

福岡市民病院においては，今後の投資計画を踏まえた自己財源確保の観点から，アセットマネジメントの考え方に基づいた10年間の施設・設備の整備計画を策定するとともに，高額医療機器の更新計画を策定した。

(2) 収支改善

こども病院においては，効率的な病床管理による病床利用率の向上を図るとともに，集中治療系病床の再編やMFICUの設置などによる，重症患者の円滑な受入れに取り組んだ結果，難度の高い手術の増加や，総合周産期特定集中治療室管理料の算定開始及び手術における新生児加算の算定患者の増加等に繋がり，入院収益は76億円余で，前年度より10億円余の増となった。

福岡市民病院においては，地域医療連携室を中心に救急医療体制の更なる充実を図るとともに，消化器内科医の増員や，脳神経血管内治療部の新設など高度専門医療体制の拡充を図り，手術件数が増加した。また，リハビリテーション科の開設・標榜による初期加算の算定開始など，収益増に努めた。

一方，費用削減対策については，両病院ともに外部コンサルタントを活用した診療材料等の調達に係る価格交渉の徹底，契約手法や委託業務の見直しの実施及びジェネリック医薬品の使用拡大などに取り組んだ。

これらの結果，こども病院においては，経営に関する3指標（総収支比率，経常収支比率，医業収支比率）の目標をすべて達成し，市立病院機構全体での当期純利益は2億6,400万円余となった。

【医業収益】

(単位：千円)

区 分	平成27年度実績	平成28年度実績 ()は予算上の目標値	比較増減 ()は実績－目標値
福岡市立こども 病院	7,502,357	8,737,523 (8,096,225)	1,235,166 (641,298)
福岡市民病院	5,738,642	5,496,483 (5,784,390)	▲242,159 (▲287,907)
法人全体	13,240,999	14,234,006 (13,880,615)	993,007 (353,391)

【営業費用】

(単位：千円)

区 分	平成27年度実績	平成28年度実績 ()は予算上の目標値	比較増減 ()は実績－目標値
福岡市立こども 病院	8,549,118	9,109,149 (9,360,563)	560,031 (▲251,414)
福岡市民病院	6,020,117	6,024,926 (6,250,238)	4,808 (▲225,312)
法人全体	14,569,235	15,134,075 (15,610,801)	564,839 (▲476,726)

(注1) 計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。

(注2) 平成27年度決算より控除対象外消費税等及び資産に係る控除対象外消費税等償却の表示区分を営業外費用から営業費用に変更しているが、平成27年度及び平成28年度の予算及び実績値にはこれらの金額を含めていない。

【経常収支比率】

(単位：%)

区 分	平成27年度実績	平成28年度実績 ()は28年度目標値	比較増減 ()は実績－目標値
福岡市立こども 病院	101.9	107.0 (100.5)	5.1 (6.4)
福岡市民病院	106.0	100.1 (103.9)	▲5.9 (▲3.8)
法人全体	103.5	104.3 (101.3)	0.8 (3.0)

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

(1) 新病院の整備及び運営に関する取組

こども病院に求められる役割を果たすため、特に重症度の高い先天性心疾患患児の円滑な受入れに取り組み、P I C U（特定集中治療室）及びH C U（重症治療室）の病床利用率並びに手術件数は前年度を上回った。また、周産期医療についても、集中治療系病床の再編によるM F I C Uの新設やN I C U（新生児集中治療室）の増床など重症患者の円滑な受入れに取り組んだ。

また、4月から、運動器疾患への集学的な管理を目的とした「運動器センター」を設置したほか、市内在住や旅行客等の外国人患者への医療提供を円滑に実施することを目的とした「国際医療支援センター」を設置するなど、医療機能の更なる強化・充実を図った。

平成27年度に設置した「川崎病センター」は、厚生労働省D P C公開データにおいて、成人を含む全国のD P C病院の中で症例数トップとなる等、順調に成果を挙げた。同様に、先天性心疾患に係る手術症例数についても全国一位となった。

さらに、小児・周産期医療の更なる発展のため、臨床研究や治験にも積極的に取り組むことを目的として、臨床研究部を設置し、文部科学省から研究機関の指定を受けた。

このほか、5月に、美しい景観の創出を図ることを目的とした福岡県屋外広告景観賞において、最優秀屋外広告景観賞を受賞した。

(2) 福岡市民病院における経営改善の推進

経営改善の推進については、病院長を中心に徹底した経営管理を行いながら、病院一丸となって経営の効率化に努め、積極的な増収対策による医業収益の増加や徹底した費用削減に取り組んだ結果、患者数の落ち込みなどにより医業収益は減収となったが、80万円余の当期純利益となった。

また、医療面における取組としては、引き続き高度専門医療、高度救急医療の強化・充実を図ったほか、感染症患者の受入れや熊本地震への支援など、市立病院として求められる役割を果たした。

【福岡市民病院 医業収支比較】

(単位：百万円)

区 分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
医業収益 a	3,998	4,526	4,881	5,039	4,886	5,311	5,739	5,496
営業費用 b	4,439	4,687	4,849	5,034	5,066	5,486	6,020	6,025
差引 (a - b)	▲441	▲161	32	5	▲180	▲175	▲281	▲528
医業収支比率 (a / b)	90.1 %	96.6 %	100.7 %	100.1 %	96.4 %	96.8 %	95.3 %	91.2% (95.4%)

(注1) ()内は目標値

(注2) 平成27年度決算より控除対象外消費税等及び資産に係る控除対象外消費税等償却の表示区分を営業外費用から営業費用に変更しているが、医業収支比率の平成27年度及び平成28年度は営業費用からこれらの金額を差引いて算定している。

【主な目標値の達成状況】

区 分		福岡市立こども病院			福岡市民病院		
		28年度 目標値	28年度 実績値	達成率	28年度 目標値	28年度 実績値	達成率
患者 動向	1人1日当たり入院単価（円）	96,500	101,587	105.3	65,000	62,434	96.1
	1人1日当たり外来単価（円）	12,900	12,378	96.0	22,300	22,997	103.1
	1日当たり入院患者数（人） （病床利用率（%））	202.3 (84.6)	205.6 (86.0)	101.6 (101.7)	184.0 (92.0)	181.3 (88.9)	98.5 (96.6)
	新規入院患者数（人）	6,100	6,429	105.4	4,800	4,438	92.5
	平均在院日数（日）	11.9	10.7	111.2	11.6	13.0	89.2
	1日当たり外来患者数（人）	290.0	329.3	113.6	245.0	229.1	93.5
医業 活動	手術件数（件）	2,720	2,695	99.1	3,050	3,100	101.6
	救急搬送件数（件）	1,020	1,178	115.5	2,900	2,670	92.1
	紹介率（%）	80.0	90.1	112.6	80.0	87.3	109.1
	逆紹介率（%）	60.0	54.8	91.3	140.0	154.6	110.4
	薬剤管理指導件数（件）	4,610	8,931	193.7	9,300	9,732	104.6
	栄養食事指導・相談件数（件）	340	698	205.3	1,100	1,140	103.6
患者 満足	退院時アンケート結果（こども病院）	90.0	88.4	98.2			
	患者満足度調査（福岡市民病院）						
経営 収支	給与費対医業収益比率（%）	58.9	54.3	108.5	56.0	59.9	93.5
	材料費対医業収益比率（%）	19.4	19.8	98.0	29.3	29.1	100.7
	薬品費対医業収益比率（%）	6.9	6.8	101.5	12.0	11.8	101.7
	診療材料費対医業収益比率（%）	11.9	12.3	96.7	17.2	17.2	100.0
	委託費対医業収益比率（%）	10.4	9.2	113.0	6.8	7.0	97.1
	ジェネリック医薬品導入率（%） ※	8.0 (65.0)	15.6 (81.8)	195.0 (125.8)	32.0 (75.0)	34.1 (87.6)	106.6 (116.8)
	総収支比率（%）	94.1	102.6	109.0	103.2	100.0	96.9
	経常収支比率（%）	100.5	107.0	106.5	103.9	100.1	96.3
	医業収支比率（%）	88.7	95.9	108.1	95.4	91.2	95.6

※ジェネリック医薬品導入率は品目数の割合で算出しているが、参考として（ ）内に数量による割合を記載している。

項目別の状況

<p>中期目標(項目)</p>	<p>第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>1 医療サービス (1) 良質な医療の実践</p>	
<p>中期計画</p>	<p>年度計画</p>	
<p>第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 医療サービス</p> <p>(1) 良質な医療の実践</p> <p>こども病院・感染症センター及び平成26年度開院予定の新病院並びに福岡市民病院が、それぞれに求められる役割を着実に果たすため、次のとおり診療機能の強化・充実に取り組む。</p> <p>ア こども病院・感染症センター</p> <p>① 小児医療（高度・地域・救急）を担う小児総合医療施設として高い水準の医療機能を維持する。</p> <p>② 新病院への円滑な移行に向けた準備を進める。</p> <p>③ 第一種・第二種感染症指定医療機関として、代替の医療機関が確保されるまでの間は、その役割を果たす。</p>	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 医療サービス</p> <p>(1) 良質な医療の実践</p> <p>福岡市立こども病院及び福岡市民病院が、それぞれに求められる役割を着実に果たすため、次のとおり診療機能の強化・充実に取り組む。</p> <p>ア こども病院・感染症センター</p> <p>(平成26年11月1日移転)</p>	

中期目標 (内容)	<p>市立病院機構は、地域における医療水準の向上を図り、市民の健康の維持及び増進に寄与するため、福岡市における医療政策として求められる高度専門医療、救急医療等を提供すること。</p> <p>また、その役割を安定的・継続的に果たすため、患者のニーズや医療環境の変化に即して、診療機能の充実や見直しを図ること。</p> <p>ア こども病院・感染症センター</p> <p>小児に係る地域医療及び高度専門医療を担う小児総合医療施設として高い水準の医療機能を維持するとともに、第一種・第二種感染症指定医療機関としての役割については、福岡県に対し、新病院開院に先立つ早期の指定辞退を届け出ているが、代替の医療機関が確保されるまでの間は、その役割を果たすこと。</p>
--------------	--

評価の判断理由 (実施状況等)	自己評価		委員会の評価		
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>ア こども病院・感染症センター</p> <p>(平成26年11月1日移転)</p>	-	-	-	-	

<p>中期目標(項目)</p>	<p>第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>1 医療サービス (1) 良質な医療の実践</p>	
	<p>中期計画</p>	<p>年度計画</p>
<p>第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 医療サービス</p> <p>(1) 良質な医療の実践</p> <p>イ 新病院</p> <p>① 総合診療科や脳神経外科等を新設し、医療機能の強化を図る。</p> <p>② 産科や新生児集中治療室を拡充し、周産期医療の充実を図る。</p> <p>③ 診療体制を強化し、小児救急医療の充実を図る。</p>	<p>イ 福岡市立こども病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 循環器センター(循環器科, 心臓血管外科), 周産期センター(産科, NICU, GCU) 及び手術・集中治療センター(手術部, PICU, HCU) の稼働率の更なる向上に向け、院内の診療体制を強化するとともに、各部門間の密接な連携に基づいた医療を実践し、重症患者の円滑な受入れに取り組む。 ○ 平成27年度に新設した脳神経外科, 皮膚科, 小児歯科をはじめとした患児受入れの強化を図るとともに、重症度の高い先天性心疾患患児の受入れについて積極的に取り組む。 ○ 周産期医療の更なる充実を図るため、産科病棟内にMFICU(母体・胎児集中治療室)を設置し、重症患者の円滑な受入に取り組む。 ○ 整形・脊椎外科, 脳神経外科, 小児神経科, 新生児科, 内分泌・代謝科の連携により、運動器疾患への集学的な管理を強化するため、患者の受入れ, 手術, 術後のフォローまでを一貫して対応する運動器センターを新設する。 ○ 福岡市在住又は観光旅行等で福岡を訪れている外国人の子どもたちへの医療提供が必要となった場合に、適切な医療を円滑に実施するため、国際医療支援センターを新設する。 ○ 平成27年度に整備した救急診療体制の強化に引き続き取り組み、小児救急医療の充実を図る。 	

中期目標(内容)	<p>市立病院機構は、地域における医療水準の向上を図り、市民の健康の維持及び増進に寄与するため、福岡市における医療政策として求められる高度専門医療、救急医療等を提供すること。</p> <p>また、その役割を安定的・継続的に果たすため、患者のニーズや医療環境の変化に即して、診療機能の充実や見直しを図ること。</p> <p>イ 新病院 新病院においては、平成20年12月策定の新病院基本構想を踏まえ、総合診療科、脳神経外科、歯科口腔外科及び皮膚科を新設するとともに、産科を拡充し、こども病院としてこれまで培ってきた小児医療（高度・地域・救急）及び周産期医療の更なる充実を図ること。</p>
----------	---

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価		
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>イ 福岡市立こども病院</p> <p>○ 先天性心疾患や双胎間輸血症候群、超低出生体重児など重症度の高い症例が増加した周産期センターについては、集中治療系病床の再編により、12月からNICU12床を18床へと6床増床し、NICUの病床利用率は94.9% (27年度:88.7%)、GCUは87.7% (27年度:44.5%) と、それぞれ前年度を上回った。</p> <p>また、手術・集中治療センターについては、周産期センター等と緊密に連携し、PICUの病床利用率は91.2% (27年度:78.3%) を達成した。なお、医師や看護師配置の都合上、限られた病床での運用となったHCUについては、病床利用率は68.3%となったが、実稼働は91.1%と前年度を大きく上回った。</p> <p>循環器センターについては、西日本各地から積極的に患者の受入れを行いつつ、より重篤な先天性心疾患患児を胎児期から受け入れ、新生児期、乳幼児期にかけて一貫した高度専門医療を提供した。</p> <p>○ 平成27年度に新設した脳神経外科、皮膚科、小児歯科については、順調に手術症例や患児の受入れを行うとともに、他の診療科と連携し、患者目線の診療に取り組んだ。</p> <p>○ 周産期センターについては、6月から産科病棟内にMFICU(6床)を設置するとともに、麻酔科・手術部の24時間即応体制を確保し、胎児ハイリスク症例の受入体制強化を行うなど医療機能の充実を図り、病床利用率は87.5%となった。</p> <p>○ 運動器疾患への集学的な管理を目的として4月に設置した運動器センターについては、初診の段階で関連する複数の診療科を受診することが可能となり、患者・家族の通院負担の軽減や診療の共有化・効率化に繋がった。また、理学療法士を増員し、リハビリテーションの体制強化を行った。</p> <p>○ 医療の国際化対応部門として4月に国際医</p>	2	4	2	5	<p>川崎病センター及び先天性心疾患の手術症例数は全国一位という成果をあげている。また、患者の増加等に対応した病床再編や既存のセンター並びに診療科における連携強化を図りながら、運動器センターや国際医療支援センターを新設するなど、良質な医療の提供を目指した取組がなされ、結果、1人1日当たり入院単価、新規入院患者数、救急搬送件数の大幅な伸びを見せていることを高く評価し、年度計画を大幅に上回って実施していると判断されるため、「評価5」とする。</p>

中期計画			年度計画		
【目標値】			【目標値】		
指標	福岡市立こども病院		指標	福岡市立こども病院	
	平成23年度 実績値	平成28年度 目標値		平成26年度 実績値	平成28年度 目標値
1人1日当たり 入院単価（円）	100,367	97,700	1人1日当たり 入院単価（円）	104,104	96,500
1人1日当たり 外来単価（円）	11,966	12,900	1人1日当たり 外来単価（円）	11,405	12,900
1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））	145.9 (76.8)	208.5 (89.5)	1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））	127.6 (61.4)	202.3 (84.6)
新規入院患者数（人）	4,899	6,400	新規入院患者数（人）	4,242	6,100
平均在院日数（日）	9.9	11.9	平均在院日数（日）	10.0	11.9
1日当たり 外来患者数（人）	276.7	387.4	1日当たり 外来患者数（人）	258.1	290.0
手術件数（件）	2,212	2,720	手術件数（件）	1,877	2,720
救急搬送件数（件）	639	1,020	救急搬送件数（件）	589	1,020
※ 平成23年度実績値は、こども病院・感染症センターの実績値			※ 平成26年度実績値は、こども病院・感染症センターの実績値を計上。以下同じ。		

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価																															
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど																													
<p>療支援センターを新設し、在留外国人患者の言語サポートや説明文書の翻訳等の整備を行うとともに、国際都市にふさわしい医療サービスの提供を行った（11か国31人に言語サポート提供）。</p> <p>○ 救急診療体制の強化に引き続き取り組み、年間1,178件の救急搬送患者を受け入れた。ドクターヘリによる搬送数も年間23件へと増加した。</p> <p>○ 平成27年度に設置した川崎病センターは、厚生労働省DPC公開データにおいて、成人を含む全国のDPC病院の中で症例数が一位となる等、順調に成果を挙げた。同様に、先天性心疾患に係る手術症例数についても、全国一位となった。</p> <p>○ 小児・周産期医療の更なる発展のため、臨床研究や治験にも積極的に取り組むことを目的として、臨床研究部を設置し、文部科学省から研究機関の指定を受けた。</p> <p>○ 主な目標値の達成状況については、1人1日当たり外来単価及び手術件数において目標値を下回ったが、その他の指標においては目標値を上回った。</p> <p>【実績値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市立こども病院</th> </tr> <tr> <th>平成27年度実績値</th> <th>平成28年度実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1人1日当たり入院単価（円）</td> <td>96,877</td> <td>101,587</td> </tr> <tr> <td>1人1日当たり外来単価（円）</td> <td>12,458</td> <td>12,378</td> </tr> <tr> <td>1日当たり入院患者数（人） （病床利用率（%））</td> <td>184.4 (78.0)</td> <td>205.6 (86.0)</td> </tr> <tr> <td>新規入院患者数（人）</td> <td>6,038</td> <td>6,429</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数（日）</td> <td>10.2</td> <td>10.7</td> </tr> <tr> <td>1日当たり外来患者数（人）</td> <td>288.9</td> <td>329.3</td> </tr> <tr> <td>手術件数（件）</td> <td>2,447</td> <td>2,695</td> </tr> <tr> <td>救急搬送件数（件）</td> <td>1,028</td> <td>1,178</td> </tr> </tbody> </table>	指標	福岡市立こども病院		平成27年度実績値	平成28年度実績値	1人1日当たり入院単価（円）	96,877	101,587	1人1日当たり外来単価（円）	12,458	12,378	1日当たり入院患者数（人） （病床利用率（%））	184.4 (78.0)	205.6 (86.0)	新規入院患者数（人）	6,038	6,429	平均在院日数（日）	10.2	10.7	1日当たり外来患者数（人）	288.9	329.3	手術件数（件）	2,447	2,695	救急搬送件数（件）	1,028	1,178					
指標		福岡市立こども病院																																
	平成27年度実績値	平成28年度実績値																																
1人1日当たり入院単価（円）	96,877	101,587																																
1人1日当たり外来単価（円）	12,458	12,378																																
1日当たり入院患者数（人） （病床利用率（%））	184.4 (78.0)	205.6 (86.0)																																
新規入院患者数（人）	6,038	6,429																																
平均在院日数（日）	10.2	10.7																																
1日当たり外来患者数（人）	288.9	329.3																																
手術件数（件）	2,447	2,695																																
救急搬送件数（件）	1,028	1,178																																

中期目標(項目)	<p>第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>1 医療サービス (1) 良質な医療の実践</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 医療サービス</p> <p>(1) 良質な医療の実践</p> <p>こども病院・感染症センター及び平成26年度開院予定の新病院並びに福岡市民病院が、それぞれに求められる役割を着実に果たすため、次のとおり診療機能の強化・充実に取り組む。</p> <p>ウ 福岡市民病院</p> <p>① 医療法で定められた医療計画における4疾病(がん, 脳卒中, 急性心筋梗塞及び糖尿病)への対応を中心に高度専門医療の更なる充実を図る。</p> <p>② 年々増加傾向にある救急患者を円滑に受け入れるとともに、交通事故等で頭部, 脊椎, 腹部などの複数部分に重度の損傷を負った多発外傷にも適切に対応できるよう救急診療室を拡張し、高度救急医療の強化充実を図る。</p> <p>③ 福岡県からの依頼に基づき、第二種感染症病床(4床)を設置するとともに、新型インフルエンザ等の感染症発生時においては、市立病院として、福岡市の対策における医療面での中核的な役割を担うなど、感染症医療機能の充実を図る。</p> <p>④ 上記の医療機能強化に対応するため、施設・設備の拡充を図る。</p>	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 医療サービス</p> <p>(1) 良質な医療の実践</p> <p>福岡市立こども病院及び福岡市民病院が、それぞれに求められる役割を着実に果たすため、次のとおり診療機能の強化・充実に取り組む。</p> <p>ウ 福岡市民病院</p> <p>○ 4疾病(がん, 脳卒中, 急性心筋梗塞及び糖尿病)への対応を中心に高度専門医療の更なる充実を図るとともに、従来の脳神経外科に加え神経内科に脳血管内治療専門医1名を新たに配置する。また、脳神経・脳卒中患者に対する脳血管内治療高度専門医療体制の拡充を図るため、血管造影装置を更新する。</p> <p>○ 循環器内科において、不整脈のカテーテル治療である経皮的心筋焼灼術(アブレーション)を本格導入する。</p> <p>○ 高度救急医療体制の充実を図り、脳疾患・循環器疾患とともに、重症外傷等の重篤な救急患者の受入れ及び手術件数の増加を図る。</p> <p>○ 新型インフルエンザ等対策特別措置法における「指定地方公共機関」の指定医療機関として、各種計画等を策定し、感染症医療機能の充実を図る。</p>

中期目標(内容)	<p>市立病院機構は、地域における医療水準の向上を図り、市民の健康の維持及び増進に寄与するため、福岡市における医療政策として求められる高度専門医療、救急医療等を提供すること。</p> <p>また、その役割を安定的・継続的に果たすため、患者のニーズや医療環境の変化に即して、診療機能の充実や見直しを図ること。</p> <p>ウ 福岡市民病院 高度専門医療を担う地域の中核病院としての機能を維持するとともに、高度救急医療の更なる充実を図ること。</p> <p>また、新型インフルエンザ等の感染症発生時においては、福岡市における対策の中核的役割を果たすため、必要な対応を図ること。</p>
----------	---

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価		
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど
<p>ウ 福岡市民病院</p> <p>○ 4 疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞及び糖尿病）への対応を中心に、高度専門医療の更なる充実を図った。特に脳卒中領域においては、4月に脳神経血管内治療部を新設し、脳血管内治療専門医2名体制（脳神経外科1名・神経内科1名）で診療に従事するとともに、6月に血管造影撮影装置を更新するなど、高度専門医療体制の拡充を図った（経皮的脳血管内手術件数：72件）。</p> <p>また、外科領域において、腹腔鏡下肝切除術、腹部大動脈瘤へのステントグラフト内挿術等の難易度・専門性の高い手術を実施した。</p> <p>更に、糖尿病患者の重症化予防のため、4月から医師、看護師、管理栄養士等多職種協働による重点的な医学管理指導を開始した（糖尿病透析予防管理料 算定件数：64件）。</p> <p>○ 循環器内科において「不整脈外来」を開始し、経皮的カテーテル心筋焼灼術を本格的に導入した結果、実施件数は倍増した（27年度18件→28年度38件）。また、心大血管疾患リハビリテーションを本格的に開始し、3月から心大血管疾患リハビリテーション料（I）の施設基準を取得するなど、循環器疾患患者の治療開始後早期からのリハビリテーション実施を推進した。</p> <p>○ 地域医療連携室が中心となって各診療科との調整を行い、救急受入体制の更なる充実を図った。</p> <p>結果、救急搬送から入院となった患者数は増加し（27年度1,174名→28年度1,221名）、年間の手術件数も増加した。</p> <p>○ 新型インフルエンザ等対策特別措置法における「指定地方公共機関」として、「感染・災害対策マニュアル」の見直しを行い、新型インフルエンザ等発生時における事業継続計画（BCP）として整備した。</p> <p>また、1月に福岡検疫所との共催で「博多</p>	2	3	2	3	<p>脳神経血管内治療部の新設や、外科領域における難易度・専門性の高い手術の実施、循環器内科における不整脈外来の開始や新たな施設基準の取得、救急受入体制の更なる充実に向けた取組など、高度専門医療、救急医療を提供するための体制整備や強化が図られている。また、福岡検疫所との共催で訓練を実施するなど、新型インフルエンザ等対策特別措置法における指定医療機関として、関係機関との連携体制の確立が図られていることから、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。</p>

中期計画			年度計画		
【目標値】			【目標値】		
指標	福岡市民病院		指標	福岡市民病院	
	平成23年度 実績値	平成28年度 目標値		平成26年度 実績値	平成28年度 目標値
1人1日当たり 入院単価（円）	57,617	64,500	1人1日当たり 入院単価（円）	63,763	65,000
1人1日当たり 外来単価（円）	15,413	16,000	1人1日当たり 外来単価（円）	17,609	22,300
1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））	186.0 (93.0)	184.0 (92.0)	1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））	179.5 (89.7)	184.0 (92.0)
新規入院患者数(人)	4,386	4,900	新規入院患者数(人)	4,647	4,800
平均在院日数（日）	12.6	11.6	平均在院日数（日）	11.9	11.6
1日当たり 外来患者数（人）	236.5	250.0	1日当たり 外来患者数（人）	243.8	245.0
手術件数（件）	2,619	2,750	手術件数（件）	2,992	3,050
救急搬送件数（件）	2,323	3,100	救急搬送件数（件）	2,835	2,900

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価																															
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																													
<p>港新型インフルエンザ検疫措置訓練」を実施し、新型インフルエンザ発生時における関係機関との連携体制の確立を図った。</p> <p>○ 主な目標値の達成状況については、1人1日当たり入院単価、1日当たり入院患者数・外来患者数、新規入院患者数、平均在院日数及び救急搬送件数で目標を下回ったが、1人1日当たり外来単価及び手術件数については目標値を上回った。</p> <p>なお、救急搬送件数は目標値に届かなかったものの、前年度実績値を上回った。</p> <p>【実績値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成27年度 実績値</th> <th>平成28年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1人1日当たり 入院単価（円）</td> <td>64,749</td> <td>62,434</td> </tr> <tr> <td>1人1日当たり 外来単価（円）</td> <td>22,739</td> <td>22,997</td> </tr> <tr> <td>1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））</td> <td>183.7 (90.1)</td> <td>181.3 (88.9)</td> </tr> <tr> <td>新規入院患者数 （人）</td> <td>4,510</td> <td>4,438</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数（日）</td> <td>12.6</td> <td>13.0</td> </tr> <tr> <td>1日当たり 外来患者数（人）</td> <td>234.2</td> <td>229.1</td> </tr> <tr> <td>手術件数（件）</td> <td>3,060</td> <td>3,100</td> </tr> <tr> <td>救急搬送件数（件）</td> <td>2,620</td> <td>2,670</td> </tr> </tbody> </table>	指標	福岡市民病院		平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	1人1日当たり 入院単価（円）	64,749	62,434	1人1日当たり 外来単価（円）	22,739	22,997	1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））	183.7 (90.1)	181.3 (88.9)	新規入院患者数 （人）	4,510	4,438	平均在院日数（日）	12.6	13.0	1日当たり 外来患者数（人）	234.2	229.1	手術件数（件）	3,060	3,100	救急搬送件数（件）	2,620	2,670					
指標		福岡市民病院																																
	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値																																
1人1日当たり 入院単価（円）	64,749	62,434																																
1人1日当たり 外来単価（円）	22,739	22,997																																
1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））	183.7 (90.1)	181.3 (88.9)																																
新規入院患者数 （人）	4,510	4,438																																
平均在院日数（日）	12.6	13.0																																
1日当たり 外来患者数（人）	234.2	229.1																																
手術件数（件）	3,060	3,100																																
救急搬送件数（件）	2,620	2,670																																

中期目標(項目)	<p>第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>1 医療サービス (2) 地域医療への貢献と医療連携の推進</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 医療サービス</p> <p>(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進</p> <p>① 地域医療体制の中核を担う地域医療支援病院としての役割を踏まえ、かかりつけ医等の支援を通じて地域医療への貢献に取り組む。</p> <p>② 地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図り、病病・病診連携を積極的に推進する。</p>	<p>ア 福岡市立こども病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小児医療の基幹病院及び地域医療体制の中核を担う地域医療支援病院として病病・病診連携を推進するとともに、症状の安定した患者については、積極的に地域の医療機関に逆紹介する。 ○ 福岡市および福岡都市圏を含むエリアとの連携強化のため、地域の医療機関への広報等の充実、オープンカンファレンス等の利用促進に取り組む。 ○ 周産期センター内にMFICUを開設するなど、充実した周産期医療の提供を行い、県内における周産期ネットワークの一翼を担う。 ○ 引き続き、九州大学病院等の県内6病院が参加している「福岡県小児等在宅医療推進事業」の取組を進め、地域における小児在宅医療の推進を支援するとともに、後方医療機関等との連携構築に努め、移行期医療に係る受け皿の確保を図る。 ○ ドクターカーを活用し、周産期センターにおける母体搬送や新生児搬送を含め、円滑な対応と患児の安全な搬送に努める。

中期目標(内容)	地域医療に貢献するため、地域の医療機関との連携・協力体制の更なる充実を図り、病病・病診連携を積極的に推進すること。
----------	---

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価			
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど	
<p>ア 福岡市立こども病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域医療支援病院として、積極的に地域の医療機関からの紹介患者や救急搬送を受け入れた結果、紹介率は90.1%となった。 ○ 地域の医療従事者も参加するカンファレンスや症例検討会等を定期的で開催するとともに、副院長、看護師及びMSWが福岡都市圏の開業医等計125施設へ訪問するなど、病病・病診連携の強化を図った。また、新たに宗像、筑紫、糸島の3医師会との連携強化を図り、開放型病床の登録医数は297人と大きく伸び目標を上回った。 ○ 周産期センターについては、6月に産科病棟内にMFICU(6床)を設置するとともに、麻酔科・手術部の24時間即応体制を確保し、胎児ハイリスク症例の受入体制強化と、重症患者の円滑な受入れ並びに緊急時対応体制を整備した。また、福岡地域の周産期母子医療センター等と協働して「福岡県母体搬送コーディネーター事業」に参加し、12月から受入可否情報の共有化を図る等、周産期医療ネットワークの一翼を担った。 ○ 引き続き、福岡県の「小児等在宅医療推進事業」を受託し、医療・福祉・教育分野との連携を推進し、地域で在宅医療を支える体制づくりに貢献した。特に、地域の訪問看護ステーションの看護師に対して、小児訪問看護研修プログラムに沿った研修会を3回実施し、延べ115人の参加があった。 ○ ドクターカーについては、東区を中心に西区、筑紫野市、福津市までに至る福岡都市圏において年間109件、うち新生児・母体の迎え搬送は69件の出動を行い、円滑かつ安全な患児の搬送に努めた。 	2	4	2	4	<p>地域医療支援病院として、地域の医療機関からの積極的な紹介患者・救急搬送の受入れに取り組んだことによる紹介率の増加、カンファレンスなどの定期開催や病院訪問、医師会との連携強化による開放型病床への登録医数の大幅な増加、また、周産期センターにおける緊急時対応体制の整備など、病病・病診連携に積極的に取り組んでいることから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。</p>	

中期計画				年度計画			
【目標値】				【目標値】			
指標		福岡市立こども病院		指標		福岡市立こども病院	
		平成23年度 実績値	平成28年度 目標値			平成26年度 実績値	平成28年度 目標値
紹介率 (%)		85.3	89.0	紹介率 (%)		91.8	80.0
逆紹介率 (%)		25.7	28.0	逆紹介率 (%)		58.1	60.0
オープンカン ファレンス	回数 (回)	33	36	オープンカン ファレンス	回数 (回)	44	50
	参加者数 (人)	1,017	1,260		参加者数 (人)	1,160	1,300
開放型病床への登録 医数 (人)		111	160	開放型病床への登録 医数 (人)		154	200

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価																							
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																					
<p>【実績値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市立こども病院</th> </tr> <tr> <th>平成27年度 実績値</th> <th>平成28年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率 (%)</td> <td>86.9</td> <td>90.1</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率 (%)</td> <td>50.2</td> <td>54.8</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">オープンカン ファレンス</td> <td>回数 (回)</td> <td>45</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>参加者数 (人)</td> <td>1,713</td> <td>1,771</td> </tr> <tr> <td>開放型病床への登録 医数 (人)</td> <td>193</td> <td>297</td> </tr> </tbody> </table>	指標	福岡市立こども病院		平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	紹介率 (%)	86.9	90.1	逆紹介率 (%)	50.2	54.8	オープンカン ファレンス	回数 (回)	45	48	参加者数 (人)	1,713	1,771	開放型病床への登録 医数 (人)	193	297					
指標		福岡市立こども病院																								
	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値																								
紹介率 (%)	86.9	90.1																								
逆紹介率 (%)	50.2	54.8																								
オープンカン ファレンス	回数 (回)	45	48																							
	参加者数 (人)	1,713	1,771																							
開放型病床への登録 医数 (人)	193	297																								

中期目標(項目)	<p>第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>1 医療サービス (2) 地域医療への貢献と医療連携の推進</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 医療サービス</p> <p>(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進</p> <p>① 地域医療体制の中核を担う地域医療支援病院としての役割を踏まえ、かかりつけ医等の支援を通じて地域医療への貢献に取り組む。</p> <p>② 地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図り、病病・病診連携を積極的に推進する。</p>	<p>イ 福岡市民病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 診療情報誌・季刊誌・各科診療案内・ホームページ等により、病院の診療内容・医療サービスや診療実績などの情報を患者や近隣の医療機関等にわかりやすく発信する。また、地域の医療機能・医療ニーズを把握して適切な連携を行うことにより、紹介率・逆紹介率の向上を図る。 ○ 地域医療支援病院としての役割を果たすため、「かかりつけ医」との役割分担及び連携等を図り、紹介患者に対する最適な医療の提供を行うとともに、大型医療機器等の共同利用を促進する。また、地域の医療従事者に対するオープンカンファレンス等の研修会や支援を引き続き行う。 ○ 新公立病院改革ガイドラインの趣旨や地域医療構想を踏まえ、今後福岡市民病院が担うべき医療連携や在宅医療に向けた取組等について検討を進める。

中期目標(内容)	地域医療に貢献するため、地域の医療機関との連携・協力体制の更なる充実を図り、病病・病診連携を積極的に推進すること。
----------	---

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価			
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど	
<p>イ 福岡市民病院</p> <p>○ 診療情報誌・季刊誌・ホームページ等により、診療内容・医療サービスや診療実績などの情報を患者や近隣の医療機関等に向けて発信した。</p> <p>特に、10月から開始したホームページによる病院指標(厚生労働省から示された7項目の情報)の公開については、一般の人にも分かり易い解説に努めた。</p> <p>また、治療実績等を含めた各科診療案内(冊子)を最新版に改訂するとともに、医師を中心とした開放型登録医への定期的な訪問(延べ333件)の際に活用し、「顔の見える連携」を推進した。</p> <p>○ 地域医療連携室における支援体制の見直しを行い、円滑な患者の受入れや、急性期治療後の状態に応じた退院・転院調整の充実に努めた。また、開放型登録医について、新規医療機関を中心に積極的に訪問・案内を実施した結果、登録医数は大幅に増加した(27年度174名→28年度270名)。</p> <p>これらの取組により、紹介率・逆紹介率とも前年度実績を上回った。</p> <p>また、他医療機関の新人看護師研修、緩和ケア研修会、ALS講習会など医療従事者向けの専門知識・技術等に関する研修会を引き続き実施するとともに、地域住民への健康教室出張セミナー(医療講演)を今年度も継続して4件実施した。</p> <p>脳卒中や大腿骨頸部骨折等の病病連携にあたっては、地域連携ワークショップ、地域連携パス連絡会等への参加やカンファレンスを通じ、連携先医療機関との情報交換に努めた。</p> <p>○ 地域包括ケアシステムにおいて、今後当院が博多区の基幹病院として担うべき医療連携や在宅医療への取組等について、検討を開始した。</p> <p>○ これらの取組の結果、すべての指標について目標値を上回った。</p>	2	4	2	4	<p>病院の情報発信や開放型登録医への訪問などにおいて地域の医療機関に対する効果的な手法を検討して取り組むとともに、新規医療機関を中心とした積極的な訪問の実施により、開放型病床への登録医数は大幅に増加しており、紹介率、逆紹介率などすべての指標において実績値が目標値を上回っていることから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。</p>	

中期計画				年度計画			
【目標値】				【目標値】			
指標		福岡市民病院		指標		福岡市民病院	
		平成23年度 実績値	平成28年度 目標値			平成26年度 実績値	平成28年度 目標値
紹介率 (%)		79.9	83.0	紹介率 (%)		82.5	80.0
逆紹介率 (%)		74.2	88.0	逆紹介率 (%)		129.4	140.0
オープンカン ファレンス	回数 (回)	30	36	オープンカン ファレンス	回数 (回)	68	70
	参加者数 (人)	1,004	1,150		参加者数 (人)	1,466	1,450
開放型病床への登 録医数 (人)		127	140	開放型病床への登 録医数 (人)		163	175

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価																							
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																					
<p>【実績値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成27年度 実績値</th> <th>平成28年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率（%）</td> <td>88.0</td> <td>87.3</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率（%）</td> <td>147.0</td> <td>154.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">オープンカンファレンス</td> <td>回数（回）</td> <td>83</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>参加者数（人）</td> <td>1,477</td> <td>1,609</td> </tr> <tr> <td>開放型病床への登録医数（人）</td> <td>174</td> <td>270</td> </tr> </tbody> </table>	指標	福岡市民病院		平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	紹介率（%）	88.0	87.3	逆紹介率（%）	147.0	154.6	オープンカンファレンス	回数（回）	83	85	参加者数（人）	1,477	1,609	開放型病床への登録医数（人）	174	270					
指標		福岡市民病院																								
	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値																								
紹介率（%）	88.0	87.3																								
逆紹介率（%）	147.0	154.6																								
オープンカンファレンス	回数（回）	83	85																							
	参加者数（人）	1,477	1,609																							
開放型病床への登録医数（人）	174	270																								

中期目標(項目)	<p>第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>1 医療サービス (3) 災害時等の対応</p>
----------	---

中期計画	年度計画
<p>第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 医療サービス</p> <p>(3) 災害時等の対応</p> <p>① 災害発生時やその他の緊急時においては、福岡市及び関係機関との連携の下、患者の受入れや医療従事者の派遣など迅速かつ的確に対応し、市立病院としての役割を果たす。</p> <p>② 防災対策の点検や必要物品等の備蓄確認等を徹底し、災害対応に備えた万全な体制を維持する。</p> <p>③ 他の自治体等において大規模災害が発生した場合は、医療救護活動の支援に努める。</p>	<p>○ 市立病院としての役割を果たすため、福岡市地域防災計画等に基づく適切な対応が行えるよう体制を整えるとともに、院内防災マニュアルの周知や防災訓練の実施を通じ、職員の防災意識を高めるほか、非常用発電設備及び備蓄物品等の点検を徹底し、災害発生時の万全な対応に備える。</p> <p>○ 福岡市立こども病院においては、免震構造の完備、電力・通信インフラの2ルート化、津波・高潮対策として非常用発電機の上層階への設置等による様々な災害予防策とともに、消防計画・院内防災マニュアルの職員への周知及び総合防災訓練等を実施する。</p> <p>また、福岡市民病院においては、災害時における必要物品の見直しを含めた院内防災マニュアルの更新及び夜間帯を想定した防災訓練を実施する。</p> <p>○ 福岡市立こども病院においては、全国の小児総合医療施設間で組織された「広域災害時の相互支援システム」における九州地区の幹事施設として衛星電話を設置しており、災害時に活用が図られるよう関係医療機関への周知を行う。</p> <p>また、福岡市民病院においては、九州自治体病院災害相互応援協定を締結していることから、災害発生時において迅速に対応できるよう引き続き災害時派遣医療班を組織する。</p>

中期目標(内容)	<p>災害発生時やその他の緊急時において、福岡市地域防災計画、各種感染症の対策行動計画等に基づき、市立病院として迅速かつ的確に対応すること。</p> <p>また、他の自治体等において大規模災害が発生した場合は、医療救護活動の支援に努めること。</p>
----------	---

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価			
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど	
<p>○ 市立病院としての役割を果たすため、災害発生に備え、消防計画に基づく総合防災訓練や避難誘導訓練等を適宜実施し、職員の対応力を高めるとともに、非常用発電設備及び備蓄物品等の点検などを徹底した。</p> <p>○ こども病院においては、災害発生時等における事業継続計画(BCP)を新たに策定した。</p> <p>また、日本小児総合医療施設協議会(JACHRI)加盟の医療施設間において、災害時に遅滞なく情報の共有や相互支援を遂行できるよう協定書を締結したほか、同協議会主催の衛星電話・メール連絡網テストに参加し、通信インフラ遮断時における衛星電話による連絡手順を確認した。</p> <p>○ 福岡市民病院においては、災害時必要物品の見直しを含めた防災マニュアルの見直しを行った。</p> <p>また、救急医療の更なるスキル向上に取り組み、突然の大事故や災害を想定した「第10回福岡メディカルラリー」に出場し、通算4回目となる優勝を果たした。</p> <p>○ 4月の熊本地震では、福岡市民病院については、九州自治体病院災害相互応援協定に基づき、震災当日に熊本市市民病院へ救援物資の提供や入院患者の搬送支援を行ったほか、計11班延べ100人の医療支援班を派遣した。また、9月からは、震災支援の観点から、同病院の看護師9人を研修職員として受け入れた。</p> <p>こども病院については、小児の救急外来従事として延べ16人の医師を熊本赤十字病院へ派遣したほか、院内に地域災害救急対策本部を設置し、ヘリコプターや救急車による救急搬送患者の受け入れ等、迅速かつ効率的に対応した。</p> <p>○ 熊本地震を受け、全国自治体病院協議会の福岡県支部長病院である市民病院が中心となり、県支部会員病院(20施設)に呼びかけ、11月に「災害時における医療機関相互応援に関する協定」を締結した。</p>	1	4	1	4	<p>災害発生に備えた訓練の実施や防災マニュアルの見直し、事業継続計画の策定を行い、メディカルラリーへの継続的な出場や優勝によるスキル向上に取り組むとともに、熊本地震においては、福岡市民病院の救援物資の提供、入院患者の搬送支援、延べ100人の医療支援班の派遣、福岡市立こども病院の延べ16人の医師の派遣、ヘリコプターや救急車による救急搬送患者の受け入れ等を迅速かつ効率的に行い、また、震災支援のために熊本市市民病院から看護師9人の受け入れを行うなど、市立病院としての役割を十分に果たしていることから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。</p>	

中期目標(項目)	第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 2 患者サービス (1) 患者サービスの向上
----------	--

中期計画	年度計画																
<p>第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>2 患者サービス</p> <p>(1) 患者サービスの向上</p> <p>① 患者満足度調査等を実施し、患者のニーズを的確に捉えた上で、より一層の患者サービスの向上を図る。</p> <p>② 院内環境の整備を進め、より快適な療養環境を提供する。</p> <p>③ 新病院については、より過ごしやすい療養空間を確保し、個室環境の整備とともに、患児家族滞在施設や駐車場の拡充を行うなど、利用者の利便性の向上を図る。</p> <p>【目標値】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市立こども病院</th> </tr> <tr> <th>平成23年度 実績値</th> <th>平成28年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>退院時アンケートの平均評価点数 (100点満点)</td> <td style="text-align: center;">88.0</td> <td style="text-align: center;">90.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※対象者・・・入院患者 ※評価項目・・・接遇, 療養環境, 食事内容等</p>	指標	福岡市立こども病院		平成23年度 実績値	平成28年度 目標値	退院時アンケートの平均評価点数 (100点満点)	88.0	90.0	<p>ア 福岡市立こども病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 職員の接遇及び療養環境等に関する患者満足度調査等を実施し、患者のニーズを的確に捉えた上で、より一層の患者サービスの向上を図る。 ○ 地域医療連携室において医療・福祉相談に引き続き取り組み、保健福祉行政機関とも連携しながら、各事案に応じて適切に対応する。また、「福岡県難病相談・支援センター」の相談支援員を配置するなど、相談業務を強化する。 ○ 売店やレストラン等の便民施設の運営については、利用者の意見等を踏まえ、株式会社FCHパートナーズと協議しながら適切に対応する。 ○ 平成27年5月に開所した患児家族滞在施設(ふくおかハウス)については、患児家族が安心して滞在できるよう「公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン」の円滑な運営に協力する。 ○ 発達段階に応じた療育支援のため、院内保育の充実を図るとともに、院内学級の円滑な運営に協力する。 ○ 平成20年12月策定の新病院基本構想※に基づき、国際医療支援センターを新設し、外国人患者が不安なく医療を受けられるよう院内の連携体制の構築や院内スタッフへの教育・研修を行う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※新病院基本構想(抜粋) (前略)また、外国人患者が不安なく医療を受けられるよう、語学ボランティアのしくみづくりや外国語表示の整備を行います。(参考：新病院基本構想より抜粋)</p> </div> <p>【目標値】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市立こども病院</th> </tr> <tr> <th>平成26年度 実績値</th> <th>平成28年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>退院時アンケートの平均評価点数 (100点満点)</td> <td style="text-align: center;">87.4</td> <td style="text-align: center;">90.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※対象者・・・入院患者 ※評価項目・・・接遇, 療養環境, 食事内容等</p>	指標	福岡市立こども病院		平成26年度 実績値	平成28年度 目標値	退院時アンケートの平均評価点数 (100点満点)	87.4	90.0
指標		福岡市立こども病院															
	平成23年度 実績値	平成28年度 目標値															
退院時アンケートの平均評価点数 (100点満点)	88.0	90.0															
指標	福岡市立こども病院																
	平成26年度 実績値	平成28年度 目標値															
退院時アンケートの平均評価点数 (100点満点)	87.4	90.0															

中期目標(内容)	<p>患者のニーズを的確に捉えるとともに、選ばれる病院であり続けるため、患者サービスの向上に努めること。</p> <p>また、より快適な療養環境を提供するため、院内環境の整備を進めるなど、患者の利便性の向上を図ること。</p>
----------	---

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価											
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど									
<p>ア 福岡市立こども病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 退院時アンケートの結果等を踏まえ、患者の利便性の向上に向け、引き続き西鉄バスと交渉を行い、バスの増便に繋がった。また、病棟に自動販売機を増設したほか、院内で弁当等の食事ができるように、1階のひだまりギャラリーにテーブル及びイスを設置するなど、患者サービスの向上に努めた。 ○ 地域医療連携室における相談・連携業務延件数は年間7,185件にのぼり、前年度よりも1,900件増加した。また、4月からは定期的に「福岡県難病相談・支援センター」の相談支援員による療育相談窓口を設置し、相談業務の強化を図った。 ○ 患児家族滞在施設(ふくおかハウス)については、「公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン」の円滑な運営に協力し、81.2%という高い利用率となった。 ○ 患児の発達段階に応じた療育支援を行うため、院内保育士とボランティアが連携して、保育教材の作成等を行ったほか、院内学級の児童・生徒が、七夕会やクリスマス会等の院内イベントに参加し、発表する学習の場を設けるなど、院内学級の円滑な運営に協力した。 ○ 4月の国際医療支援センター開設に伴い、在留外国人患者の言語サポートや説明文書の翻訳等の整備を行ったほか外国人患者とのコミュニケーションを円滑にするため、職員を対象に語学や異文化理解の研修会を実施した(14回)。 ○ 患者の多様なニーズを踏まえ、7月から一部診療科において、ホームページによる24時間外来診療予約受付を試行開始した。(4診療科 再診のみ) <p>【実績値】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市立こども病院</th> </tr> <tr> <th>平成27年度実績値</th> <th>平成28年度実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>退院時アンケートの平均評価点数(100点満点)</td> <td style="text-align: center;">88.0</td> <td style="text-align: center;">88.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>※対象者・・・入院患者 ※評価項目・・・接遇, 療養環境, 食事内容等</p>	指標	福岡市立こども病院		平成27年度実績値	平成28年度実績値	退院時アンケートの平均評価点数(100点満点)	88.0	88.4	2	4	2	4	<p>退院時アンケートの結果等を踏まえ、西鉄バスの増便や自動販売機の設置など、さまざまな患者サービス向上の取組を行うとともに、療育相談窓口の設置による相談業務の強化やホームページでの24時間外来診療予約の一部試行による患者の利便性の向上を図り、また、国際医療支援センターを開設し、外国人患者の円滑な受入体制の整備を進めていることから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。</p>	
指標		福岡市立こども病院												
	平成27年度実績値	平成28年度実績値												
退院時アンケートの平均評価点数(100点満点)	88.0	88.4												

中期目標(項目)	<p>第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>2 患者サービス (1) 患者サービスの向上</p>
----------	---

中期計画	年度計画																
<p>第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>2 患者サービス</p> <p>(1) 患者サービスの向上</p> <p>① 患者満足度調査等を実施し、患者のニーズを的確に捉えた上で、より一層の患者サービスの向上を図る。</p> <p>② 院内環境の整備を進め、より快適な療養環境を提供する。</p> <p>③ 新病院については、より過ごしやすい療養空間を確保し、個室環境の整備とともに、患児家族滞在施設や駐車場の拡充を行うなど、利用者の利便性の向上を図る。</p> <p>【目標値】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成23年度 実績値</th> <th>平成28年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者満足度調査における平均評価点数(100点満点)</td> <td style="text-align: center;">76.0</td> <td style="text-align: center;">80.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※対象者・・・入院患者 ※評価項目・・・接遇, 療養環境, 食事内容等</p>	指標	福岡市民病院		平成23年度 実績値	平成28年度 目標値	患者満足度調査における平均評価点数(100点満点)	76.0	80.0	<p>イ 福岡市民病院</p> <p>○ 診療結果や職員の接遇及び療養環境等に関する患者満足度調査や外来待ち時間調査を実施し、患者のニーズを的確に捉えた上で、より一層のサービス向上を図る。</p> <p>また、昨年度に引き続き入院ベッドを計画的に更新するなど療養環境の整備に努める。</p> <p>○ 日本病院会主催の「Q Iプロジェクト」等に引き続き参加し、ベンチマークによる比較評価を通じ病院の医療の質の向上を図る。</p> <p>【目標値】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成26年度 実績値</th> <th>平成28年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者満足度調査における平均評価点数(100点満点)</td> <td style="text-align: center;">91.2</td> <td style="text-align: center;">90.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※対象者・・・入院患者 ※評価項目・・・接遇, 療養環境, 食事内容等</p>	指標	福岡市民病院		平成26年度 実績値	平成28年度 目標値	患者満足度調査における平均評価点数(100点満点)	91.2	90.0
指標		福岡市民病院															
	平成23年度 実績値	平成28年度 目標値															
患者満足度調査における平均評価点数(100点満点)	76.0	80.0															
指標	福岡市民病院																
	平成26年度 実績値	平成28年度 目標値															
患者満足度調査における平均評価点数(100点満点)	91.2	90.0															

中期目標(内容)	<p>患者のニーズを的確に捉えるとともに、選ばれる病院であり続けるため、患者サービスの向上に努めること。</p> <p>また、より快適な療養環境を提供するため、院内環境の整備を進めるなど、患者の利便性の向上を図ること。</p>
----------	---

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価										
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど								
<p>イ 福岡市民病院</p> <p>○ 外来待ち時間調査の結果等を踏まえ、会計ピーク時には、会計担当者を増員することにより、待ち時間の短縮を図った(前年度平均9分→8分)。</p> <p>また、平成27年度からすべての入院患者に対して実施することとした患者満足度調査については、平均評価点数が目標値を上回った。</p> <p>○ 平成27年度に引き続き、入院ベッド40台の更新を行うとともに、全病棟のマットレスの更新を行うなど、療養環境の整備・充実を図った。</p> <p>また、外来待合にカウンターテーブルを設置するなど、軽食や談話が可能な「くつろぎスペース」を設け、待合スペースの充実を図った。</p> <p>このほか、11月に外国人患者の受入体制の整備及びサービス向上を目的として、5か国語に対応した「通訳用タブレット端末」を導入した。</p> <p>○ 日本病院会主催の「Q Iプロジェクト」に継続して参加し、転倒・転落率等の病院指標・臨床指標データを全国中央値と比較評価するとともに、数値に変動がある項目について、毎月の所属長会議にて検討を行うことにより、医療の質の向上を図った。</p>	2	3	2	4	<p>外来の待ち時間の短縮や待合スペースの充実を図り、入院ベッドの更新などによる療養環境の整備に取り組み、入院患者満足度調査の平均点は高い点数を維持している。また、病院指標の新規作成及び公開により、患者サービスを含む医療の質の向上に向けて日々改善を行っていることから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。</p>								
<p>【実績値】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成27年度 実績値</th> <th>平成28年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者満足度調査における平均評価点数(100点満点)</td> <td style="text-align: center;">90.1</td> <td style="text-align: center;">90.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>※対象者・・・入院患者 ※評価項目・・・接遇, 療養環境, 食事内容等</p>	指標	福岡市民病院		平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	患者満足度調査における平均評価点数(100点満点)	90.1	90.6					
指標		福岡市民病院											
	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値											
患者満足度調査における平均評価点数(100点満点)	90.1	90.6											

中期目標(項目)	<p>第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>2 患者サービス (2) ボランティアとの共働</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>2 患者サービス</p> <p>(2) ボランティアとの共働</p> <p>ボランティアとの連携による植栽等の構内環境の整備や院内コンサートの実施など、市民・患者の視点に立ったサービス向上に取り組む。</p>	<p>ア 福岡市立こども病院</p> <p>○ ボランティアによる院内コンサートを実施するとともに、キッズコーナー等の見守り、本の読み聞かせや療養環境を整備するボランティアを募集するなど、引き続き充実に努める。</p> <p>また、ボランティアの円滑な受入れに向け、ボランティアルームを活用するとともに、新たにボランティアコーディネーターの配置など、ボランティアとの共働に向けた活動支援・連携強化を図る。</p>

中期目標(内容)	ボランティアとの連携を図り、市民・患者の視点に立ったサービス向上のための取組を進めること。
----------	---

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価																																				
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど																																		
<p>ア 福岡市立こども病院</p> <p>○ 院内ボランティアについては、福岡市東区社会福祉協議会の広報誌「ハートフルひがし」に募集広告を掲載するなど充実に努め、新たに外来の患児・家族に対する案内や、診療待合室でのホスピタル・クラウンの活動などが開始された。</p> <p>さらに、入院患児に対しても、一般小児病床に設置している図書・DVDの毎月の入替えや、病室を出る事ができない患児をホスピタル・クラウンが訪問するなど、ボランティアと連携し、楽しく過ごすことができる環境づくりに努めた。</p> <p>※ホスピタル・クラウン 病院などで心のケアをする道化師のこと。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">活動内容</th> <th style="width: 15%;">27年度</th> <th style="width: 15%;">28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>院内コンサート等</td> <td style="text-align: center;">14</td> <td style="text-align: center;">10</td> </tr> <tr> <td>外来(案内・遊び等)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">33</td> </tr> <tr> <td>病棟(イベント等)</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td>病棟(遊び, 読み聞かせ等)</td> <td style="text-align: center;">45</td> <td style="text-align: center;">49</td> </tr> <tr> <td>病棟(学習支援)夏季のみ</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">20</td> </tr> <tr> <td>病棟(アロママッサージ)</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">8</td> </tr> <tr> <td>院内図書等整理</td> <td style="text-align: center;">14</td> <td style="text-align: center;">10</td> </tr> <tr> <td>保育教材作成</td> <td style="text-align: center;">14</td> <td style="text-align: center;">74</td> </tr> <tr> <td>その他(兄弟児預り等)</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">16</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">108</td> <td style="text-align: center;">227</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 5px;">※延べ回数</p>	活動内容	27年度	28年度	院内コンサート等	14	10	外来(案内・遊び等)	0	33	病棟(イベント等)	4	7	病棟(遊び, 読み聞かせ等)	45	49	病棟(学習支援)夏季のみ	8	20	病棟(アロママッサージ)	2	8	院内図書等整理	14	10	保育教材作成	14	74	その他(兄弟児預り等)	7	16	合計	108	227	1	3	1	3	<p>ボランティアの募集の充実に向けた取組や、新たなボランティア活動の開始など、市民・患者の視点に立ったボランティア活動が行われていることから、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。</p>	
活動内容	27年度	28年度																																					
院内コンサート等	14	10																																					
外来(案内・遊び等)	0	33																																					
病棟(イベント等)	4	7																																					
病棟(遊び, 読み聞かせ等)	45	49																																					
病棟(学習支援)夏季のみ	8	20																																					
病棟(アロママッサージ)	2	8																																					
院内図書等整理	14	10																																					
保育教材作成	14	74																																					
その他(兄弟児預り等)	7	16																																					
合計	108	227																																					

中期目標(項目)	<p>第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>2 患者サービス (2) ボランティアとの共働</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>2 患者サービス</p> <p>(2) ボランティアとの共働</p> <p>ボランティアとの連携による植栽等の構内環境の整備や院内コンサートの実施など、市民・患者の視点に立ったサービス向上に取り組む。</p>	<p>イ 福岡市民病院</p> <p>○ 大学サークル・市民団体等に積極的に出演交渉し、定期的に院内コンサート等を実施するとともに、患者の手助けなどを行う院内ボランティア（現在3名）を幅広く募集し、登録者の拡大を図る。</p>

中期目標(内容)	ボランティアとの連携を図り，市民・患者の視点に立ったサービス向上のための取組を進めること。
----------	---

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価																		
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど																
<p>イ 福岡市民病院</p> <p>○ 地域や福岡大学のコーラスグループ等の協力により，院内コンサートを定期的実施したほか，毎月1回，ボランティアの協力を得て，花の植え替え等花壇の手入れ作業を行った。</p> <p>○ 患者の手助けなどを行う院内ボランティアの登録者の拡大には至らなかったが，現体制(登録者2人)において，外来での患者のお世話や入院患者の話し相手，認知症患者の見守り等，患者とのふれあいを大切にした活動により，患者視点のきめ細やかな患者サービスの提供が図られた。</p> <p>【活動回数】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">活動内容</th> <th style="width: 35%;">平成27年度</th> <th style="width: 35%;">平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>院内ボランティア</td> <td style="text-align: center;">72 (72)</td> <td style="text-align: center;">74 (74)</td> </tr> <tr> <td>院内コンサート</td> <td style="text-align: center;">3 (80)</td> <td style="text-align: center;">3 (60)</td> </tr> <tr> <td>フラワーボランティア</td> <td style="text-align: center;">10 (30)</td> <td style="text-align: center;">11 (38)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">85 (182)</td> <td style="text-align: center;">88 (172)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※括弧内は延べ人数</p>	活動内容	平成27年度	平成28年度	院内ボランティア	72 (72)	74 (74)	院内コンサート	3 (80)	3 (60)	フラワーボランティア	10 (30)	11 (38)	合 計	85 (182)	88 (172)	1	3	1	3	<p>地域や大学等の協力を得た定期的な院内コンサートの開催や，ボランティアによる花壇の手入れ，継続的な院内ボランティアの活動により，外来・入院患者へのきめ細やかなサービスが提供されていることから，年度計画を順調に実施していると判断されるため，「評価3」とする。</p>	
活動内容	平成27年度	平成28年度																			
院内ボランティア	72 (72)	74 (74)																			
院内コンサート	3 (80)	3 (60)																			
フラワーボランティア	10 (30)	11 (38)																			
合 計	85 (182)	88 (172)																			

中期目標(項目)	<p>第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>3 医療の質の向上 (1) 病院スタッフの確保と教育・研修</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>3 医療の質の向上</p> <p>(1) 病院スタッフの確保と教育・研修</p> <p>① 職員が働きやすい環境づくりを推進し、優れた人材の確保に努める。</p> <p>② 院内研修の充実を図るとともに、外部の専門研修等も活用しながら職員の資質向上を図る。</p> <p>③ 積極的に職員に資格取得を奨励し、専門職としての知識・技術の向上を図る。また、資格取得を支援する制度の充実に努める。</p>	<p>ア 福岡市立こども病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 電子カルテ等の診療情報の利活用を推進するため、新たに(仮)医療情報室を設置し、臨床研究等の支援体制を充実させる。 ○ 看護師については、看護学生等にインターンシップや病院説明会を実施し、看護体験や病院見学を通じて、意欲ある人材を確保するとともに、専従教育担当職員による新人看護職員の研修を重点的に実施し、職員の資質向上に努める。また、2交代制勤務対象病棟の拡大を図るなど、職員が働きやすい環境づくりを推進する。 ○ 福利厚生面については、院内保育園の運営や職員宿舎の確保及び職員のワーク・ライフ・バランスの推進に継続的に取り組み、優れた人材の確保に努める。 ○ 新規採用職員を対象とした情報セキュリティー研修、人権研修及び接遇研修のほか、院内研修についても、教育研修委員会において年間研修を計画し、外部講師の活用等により内容の充実を図るとともに、受講促進に努め、職員の資質向上を目指す。 ○ スタッフの専門性や医療技術の向上を図るため、積極的に職員の資格取得を奨励するとともに、研修医等については教育研修支援室において、研修プログラムを策定し、知識・技能の向上を図る。 また、看護師については、認定看護師等資格取得支援制度を活用し、有資格者の拡大を図る。

中期目標(内容)	医療水準を向上させるため、医師や看護師を始め、優れた人材の確保に努めること。 また、研修体制の充実などにより、スタッフの専門性や医療技術の向上を図ること。
----------	--

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価		
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど
<p>ア 福岡市立こども病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 臨床研究等に必要診療情報の二次利用のためのデータ提供業務を充実させるため、医療情報室を設置するとともに、外部の統計専門家による支援体制を構築した。 ○ 意欲ある人材を確保するため、看護学生等を対象とした、インターンシップ(7回で計131名)や病院説明会(13回で計249名)を開催した。また、新人看護職員には基本的な臨床実践能力を身に付けるための充実した研修を実施し、職員の質向上に努めた。 さらに、5月から4階西病棟を2交代制勤務とするなど、職員が働きやすい環境づくりを推進した。 ○ 福利厚生の実現を図るため、9月から、院内保育所における延長保育時間を1時間拡大し、21時までとした。また、夜勤のある部署を対象に夜間保育導入に関するアンケート調査を実施した。 ○ 院内研修については、外部講師の活用等により、内容の充実を図るとともに、患児家族との円滑なコミュニケーションをテーマにした接遇研修の他、感染対策研修、交通防犯研修、防災研修、メンタルヘルス研修など、さまざまな研修を実施し、職員一人一人のスキルアップを図った。 また、市内在住や旅行客等の外国人患者が円滑に受診できるように、全職員向けの医療英語研修会を13回開催し、職員の語学力向上に取り組んだほか、外国人患者についての異文化理解セミナーを開催した。 ○ スタッフの専門性や医療技術の向上を図るため、積極的に職員の資格取得を奨励するとともに、教育研修支援室を中心に研修医等に対する研修プログラムを策定し、知識・技能の向上に努めた。 また、認定看護師等資格取得支援制度に基づき、今年度は小児救急認定看護師の資格取得に向けて、1名の支援を行った。 	2	4	2	4	<p>医療情報室の設置による研究体制の充実や、看護学生等を対象としたインターンシップ及び病院説明会の開催による人材確保に努め、新人看護師職員向けの研修、職員の資格取得の奨励、認定看護師等資格取得支援制度に基づく支援の実施によりスタッフの専門性の向上を図るとともに、勤務体制の見直し及び院内保育所の時間の延長など、職員の福利厚生の実現にも取り組み、また、院内研修においては、外部講師の活用を図りながら、接遇・感染対策・防災・メンタルヘルスなど多岐に渡る研修を実施し、外国人患者の円滑な受入れのための研修等も実施されていることから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。</p>

中期目標(項目)	<p>第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>3 医療の質の向上 (1) 病院スタッフの確保と教育・研修</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>3 医療の質の向上</p> <p>(1) 病院スタッフの確保と教育・研修</p> <p>① 職員が働きやすい環境づくりを推進し、優れた人材の確保に努める。</p> <p>② 院内研修の充実を図るとともに、外部の専門研修等も活用しながら職員の資質向上を図る。</p> <p>③ 積極的に職員に資格取得を奨励し、専門職としての知識・技術の向上を図る。また、資格取得を支援する制度の充実に努める。</p>	<p>イ 福岡市民病院</p> <p>○ 医療従事者の勤務環境の改善を図るため、ワーク・ライフ・バランスの推進に継続的に取り組み、年休の取得率向上や時間外勤務の縮減に努め、職員が働きやすい職場環境づくりを推進し、優れた人材の確保に努める。</p> <p>また、子育て中の職員等が柔軟に多様な勤務形態を選択できるよう、育児支援制度等の認知度の向上を図り、出産・育児・介護等のために退職することなく長く働き続けられる職場づくりに努める。</p> <p>○ 新規採用職員を対象とした情報セキュリティ研修、人権研修及び接遇研修のほか、全職員を対象とした医療安全管理体制確保、院内感染対策、保険診療に関する研修等を実施するなど、院内研修の充実を図るとともに、外部の専門研修等も活用しながら職員の資質向上を図る。</p> <p>○ 看護部においては、認定看護師等資格取得支援制度を活用した積極的な資格取得を奨励し、専門職としての知識・技術の向上を図る。</p> <p>また、各部門においても、専門職としての知識・技術の向上を図るため、資格取得支援制度の充実に努める。</p>

中期目標(内容)

医療水準を向上させるため、医師や看護師を始め、優れた人材の確保に努めること。
また、研修体制の充実などにより、スタッフの専門性や医療技術の向上を図ること。

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価		
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど
<p>イ 福岡市民病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 4月から神経内科医(脳血管内治療専門医)1人、薬剤師2人、臨床検査技師1人を増員するとともに、1月から消化器内科医1人を増員し、高度専門医療の充実を図った。 また、感染症病棟を含めた7対1看護体制の確保等を行うため、看護師についても対前年度比で9人の増員を行った。 ○ 院内のワーク・ライフ・バランス推進委員会において、福岡県の医療勤務環境改善支援センターから派遣されたアドバイザーの意見を取り入れながら、年休の取得率向上に取り組むとともに、育児短時間勤務等の育児支援制度の周知を図るなど、職員が長く働き続けられる職場環境づくりを推進した。 (年休取得率 27年度 44.7%→28年度 50.1%) (看護職員離職率 27年度 7.7%→28年度 7.4%) ○ 新規採用職員を対象とした採用時研修において、情報セキュリティ研修、人権研修及び接遇研修を実施するとともに、全職員を対象として、医療安全管理体制確保、院内感染対策、保険診療にかかる研修及びBLS研修等の教育研修を実施するなど、院内研修の充実を図った。 ○ 認定看護師等資格取得支援制度の利用を促進し、専門職としての知識・技術の向上を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・認定看護師 <ul style="list-style-type: none"> がん看護 教育課程修了者1人 手術看護 資格取得者1人 摂食・嚥下障害看護 資格取得者1人 ・認定看護管理者サードレベル 教育課程修了者1人 <p>※当該支援制度による資格取得者 認定看護師 13人 認定看護管理者サードレベル 1人</p>	2	4	2	4	<p>神経内科医(脳血管内治療専門医)1人、薬剤師2人、臨床検査技師1人の増員により高度専門医療の充実を図るとともに、7対1看護体制を確保するための看護師の増員など人材確保に努めており、また、ワーク・ライフ・バランス推進委員会の取組により、年休取得率も向上し、新規採用職員を対象とした採用研修の実施や、全職員に対する複数の教育研修の実施など院内研修の充実を図っており、認定看護師等資格取得支援制度の利用促進による認定看護師の資格取得者も多く、スタッフの専門性向上に努めていることから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。</p>

中期目標(項目)	<p>第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>3 医療の質の向上 (2) 信頼される医療の実践</p>
----------	---

中期計画	年度計画																						
<p>第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>3 医療の質の向上</p> <p>(2) 信頼される医療の実践</p> <p>① 院内感染防止マニュアルの整備や定期的な院内感染対策委員会の開催などによる院内感染防止対策を徹底するとともに、医療安全管理者を中心としたリスクマネジメントや医療従事者への教育・研修を実施するなど、医療安全対策の徹底を図る。</p> <p>② クリニカルパスを活用した治療内容の可視化や十分な説明に基づくインフォームド・コンセントの徹底を図り、患者中心の医療を実践する。</p> <p>③ 薬剤師による薬剤管理指導や管理栄養士による栄養食事指導・相談を充実させ、安全・安心な医療を提供する。</p> <p>【目標値】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">こども病院 (新病院)</th> </tr> <tr> <th>平成23年度 実績値</th> <th>平成28年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤管理指導件数 (件)</td> <td style="text-align: center;">3,369</td> <td style="text-align: center;">4,610</td> </tr> <tr> <td>栄養食事指導・相談件数 (件)</td> <td style="text-align: center;">278</td> <td style="text-align: center;">340</td> </tr> </tbody> </table>	指標	こども病院 (新病院)		平成23年度 実績値	平成28年度 目標値	薬剤管理指導件数 (件)	3,369	4,610	栄養食事指導・相談件数 (件)	278	340	<p>ア 福岡市立こども病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 感染対策室、院内感染対策委員会及び感染制御チーム（ICT）の連携により、院内感染防止対策を徹底するとともに、医療安全管理者を中心としたリスクマネジメントや医療従事者への教育・研修を実施するなど、医療安全対策の徹底を図る。 ○ クリニカルパスの充実により、ケアの標準化、均質化を図り、医療の質の向上に努めるとともに、その活用による治療内容の可視化や十分な説明に基づくインフォームド・コンセントの徹底を図り、患者中心の医療を実践する。 ○ 薬剤師による薬剤管理指導や管理栄養士による栄養食事指導・相談を充実させるとともに、多職種による栄養サポートチーム（NST）により栄養管理の充実を図り、安全・安心な医療を提供する。 ○ 入院中の患児の健やかな発達をサポートするため、歯科衛生士・保育士・管理栄養士による「歯育・保育・食育教室」を開催するとともに、1型糖尿病の患児に対して食事療養を支援するための「糖尿病教室」を開催する。 ○ 治験業務については、製造販売後調査に加え、検証的臨床試験（実際の治療に近い形での効果と安全性の確認）を継続して実施し、新薬の開発に貢献する。また、治験業務の円滑な実施のため、治験管理室の新設を検討する。 <p>【目標値】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市立こども病院</th> </tr> <tr> <th>平成26年度 実績値</th> <th>平成28年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤管理指導件数 (件)</td> <td style="text-align: center;">3,058</td> <td style="text-align: center;">4,610</td> </tr> <tr> <td>栄養食事指導・相談件数 (件)</td> <td style="text-align: center;">245</td> <td style="text-align: center;">340</td> </tr> </tbody> </table>	指標	福岡市立こども病院		平成26年度 実績値	平成28年度 目標値	薬剤管理指導件数 (件)	3,058	4,610	栄養食事指導・相談件数 (件)	245	340
指標		こども病院 (新病院)																					
	平成23年度 実績値	平成28年度 目標値																					
薬剤管理指導件数 (件)	3,369	4,610																					
栄養食事指導・相談件数 (件)	278	340																					
指標	福岡市立こども病院																						
	平成26年度 実績値	平成28年度 目標値																					
薬剤管理指導件数 (件)	3,058	4,610																					
栄養食事指導・相談件数 (件)	245	340																					

中期目標(内容)	<p>市民に信頼される安全・安心な医療を提供するため、院内感染防止対策を確実に実施するとともに、医療事故に関する情報の収集・分析に努め、医療安全対策の徹底を図ること。</p> <p>また、患者が自ら受ける医療の内容を理解し、納得の上で自分に合った治療法を選択できるよう、十分な説明に基づくインフォームド・コンセントを徹底するなど、患者中心の医療を実践すること。</p>
----------	--

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価													
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど											
<p>ア 福岡市立こども病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 専従の感染管理認定看護師を配置した感染対策室、院内感染対策委員会及び感染制御チーム(ICT)の連携を推進するとともに、地域の他医療機関との合同カンファレンスの開催や相互サーベイランスの実施など、感染防止対策の強化を図った。 また、医療安全管理室による医療安全院内研修を計8回実施するとともに、安全管理委員会において情報収集及び改善策を策定し、医療安全対策の徹底を図った。 ○ 新たにクリニカルパスの電子化を進めるとともに、その活用により、患者・家族に対して十分な説明を行うなど、インフォームド・コンセントの徹底を図り、患者中心の医療を実践した。 ○ 薬剤師による薬剤管理指導について、退院後の薬剤服用に関する指導を積極的に実施するとともに、管理栄養士による栄養食事指導について、主治医や病棟看護師と連携しながら適切に指導を行い、いずれも件数は目標値を上回った。 ○ 「歯育・保育・食育教室」を6回開催(患儿と保護者計38組参加)したほか、「糖尿病教室」を開催(患儿と保護者33組参加)し、I型糖尿病患者児に対する療養指導を行うなど、患儿の健やかな発達をサポートする活動に継続的に取り組んだ。 ○ 臨床研究や治験への積極的な取組を目的として、10月に臨床研究部を設置し、文部科学省より研究機関の指定を受けた。 また、治験業務については、プロトコールの増加とともに、安全性を考慮した円滑な実施のため、臨床研究部内に治験管理室を設置し、体制強化を図った。 ○ 平成28年3月に受審した、病院機能評価 3rdG: ver1.1について、医療のプロセスや記録の検証等を継続的に実施した結果、平成28年6月に認定を受けた。 <p>【実績値】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市立こども病院</th> </tr> <tr> <th>平成27年度実績値</th> <th>平成28年度実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤管理指導件数(件)</td> <td style="text-align: center;">5,803</td> <td style="text-align: center;">8,931</td> </tr> <tr> <td>栄養食事指導・相談件数(件)</td> <td style="text-align: center;">476</td> <td style="text-align: center;">698</td> </tr> </tbody> </table>	指標	福岡市立こども病院		平成27年度実績値	平成28年度実績値	薬剤管理指導件数(件)	5,803	8,931	栄養食事指導・相談件数(件)	476	698	2	4	2	4	<p>感染対策における連携強化や、研修の実施による医療安全対策の徹底、クリニカルパスの電子化やその活用により患者中心の医療の実践のためのインフォームド・コンセントの徹底も図られており、患儿の発達サポートの継続的な活動や治験管理室の設置など、安全・安心な医療を提供するための体制整備に取り組んでいることから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。</p>
指標		福岡市立こども病院														
	平成27年度実績値	平成28年度実績値														
薬剤管理指導件数(件)	5,803	8,931														
栄養食事指導・相談件数(件)	476	698														

中期目標(項目)	<p>第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>3 医療の質の向上 (2) 信頼される医療の実践</p>
----------	---

中期計画	年度計画
<p>第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>3 医療の質の向上</p> <p>(2) 信頼される医療の実践</p> <p>① 院内感染防止マニュアルの整備や定期的な院内感染対策委員会の開催などによる院内感染防止対策を徹底するとともに、医療安全管理者を中心としたリスクマネジメントや医療従事者への教育・研修を実施するなど、医療安全対策の徹底を図る。</p> <p>② クリニカルパスを活用した治療内容の可視化や十分な説明に基づくインフォームド・コンセントの徹底を図り、患者中心の医療を実践する。</p> <p>③ 薬剤師による薬剤管理指導や管理栄養士による栄養食事指導・相談を充実させ、安全・安心な医療を提供する。</p>	<p>イ 福岡市民病院</p> <p>○ 院内感染対策委員会及び感染制御チーム(ICT)の連携により、院内感染防止対策を徹底するとともに、他施設と情報交換を行い、更なる改善を図る。</p> <p>また、医療安全管理者を中心としたリスクマネジメントや医療従事者への教育・研修を実施するなど、医療安全対策の徹底を図る。</p> <p>○ クリニカルパスの充実により、ケアの標準化・均質化を図り、医療の質の向上に努めるとともに、治療内容の可視化やインフォームド・コンセントの徹底を図り、患者中心の医療を実践する。</p> <p>○ 薬剤師による処方監査・調剤監査や持参薬の監査、病棟の薬品管理、服薬指導等を行い、引き続き安全管理体制の徹底に努める。</p> <p>また、管理栄養士による栄養食事指導等を充実させるとともに、栄養サポートチーム(NSIT)により栄養管理の充実を図り、安心・安全な医療を提供する。</p>

中期目標(内容)	<p>市民に信頼される安全・安心な医療を提供するため、院内感染防止対策を確実に実施するとともに、医療事故に関する情報の収集・分析に努め、医療安全対策の徹底を図ること。</p> <p>また、患者が自ら受ける医療の内容を理解し、納得の上で自分に合った治療法を選択できるよう、十分な説明に基づくインフォームド・コンセントを徹底するなど、患者中心の医療を実践すること。</p>
----------	--

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価		
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど
<p>イ 福岡市民病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 感染症専門医を中心に、院内感染対策委員会及び感染制御チームによる環境ラウンド等の院内感染防止対策を徹底するとともに、他病院とのカンファレンス・相互ラウンド等を通じ、感染対策に関する情報交換を行った(カンファレンス4回・外部参加者数126名)。 ○ 4月にインシデント報告システムを改修し、報告件数が大幅に増加した(27年度575件→28年度877件)。報告のうち影響度の高い事例については、MRM委員会において要因分析を行い、再発防止に繋げた。 ○ RRS(Rapid Response System: 院内心停止になる前に早期に介入することで予後を改善するシステム)の発動基準の明確化並びに院内ルール周知を図った結果、RRS件数は大幅に増加し(27年度:5件→28年度:35件)、バイタルサインの変化への早期対応により心停止に至る患者を減らすことができた。 また、今年度より院内急変症例等に対する多職種によるカンファレンスを開始し、再発予防について検討を行った(5回開催)結果、種々のシステム改善が図られた。 ○ 入院患者全体を対象に、呼吸ケアチーム(RST)、栄養サポートチーム(NST)、褥瘡対策チーム等多職種による合同回診を毎週実施した(RST422件、NST357件、褥瘡846件)。 ○ 今年度から毎週月曜日に「医療安全報告会」を開催し、各部署への迅速な情報共有を行った。 ○ クリニカルパスの活用により、治療内容やケアの標準化・均質化を図り、医療の質向上に努めた。(パス適用率: 28年度50.6%)また、一部の患者用パスをホームページ上に掲載し、治療内容の可視化に努めた。 ○ 病棟薬剤師による薬品監査・管理、服薬指導等を継続実施し、薬剤管理指導件数は目標値を上回った。 また、投薬事故防止に向けた活動としてのプレアボイド報告数についても前年度から増 	2	4	2	4	<p>環境ラウンド等による院内感染防止対策の徹底を図り、インシデント報告システムの改修、RRSの基準の明確化や院内ルールの周知による件数の増加、クリニカルパスの活用や院内急変症例等の多職種でのカンファレンスの開始、ホームページを活用した治療内容の可視化に努めるとともに、薬剤管理指導・栄養食事指導件数の実績値が目標値を上回ったことなどから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。</p>

中期計画			年度計画		
【目標値】			【目標値】		
指標	福岡市民病院		指標	福岡市民病院	
	平成23年度 実績値	平成28年度 目標値		平成26年度 実績値	平成28年度 目標値
薬剤管理指導件数 (件)	8,644	8,700	薬剤管理指導件数 (件)	9,378	9,300
栄養食事指導・相 談件数 (件)	1,047	1,100	栄養食事指導・相 談件数 (件)	1,199	1,100

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価													
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど											
<p>加した（27年度274件→28年度347件）。</p> <p>○ 管理栄養士による栄養食事指導については、診療報酬改定に基づき1件当たりの指導時間を増加（1回15分以上→初回30分以上）させるなど指導内容を充実させ、件数は前年度を下回ったが、目標値を上回った。</p> <p>【実績値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成27年度 実績値</th> <th>平成28年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤管理指導件数 (件)</td> <td>9,713</td> <td>9,732</td> </tr> <tr> <td>栄養食事指導・相談 件数 (件)</td> <td>1,220</td> <td>1,140</td> </tr> </tbody> </table>	指標	福岡市民病院		平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	薬剤管理指導件数 (件)	9,713	9,732	栄養食事指導・相談 件数 (件)	1,220	1,140					
指標		福岡市民病院														
	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値														
薬剤管理指導件数 (件)	9,713	9,732														
栄養食事指導・相談 件数 (件)	1,220	1,140														

中期目標(項目)	<p>第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>3 医療の質の向上 (3) 法令遵守と情報公開</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>3 医療の質の向上</p> <p>(3) 法令遵守と情報公開</p> <p>① 関係法令や内部規定の遵守などコンプライアンスを徹底するとともに、内部統制を確実に実施することにより、適正な病院運営を行う。</p> <p>② 個人情報保護及び情報公開に関しては、福岡市の関係条例等及び当法人の情報セキュリティポリシーに基づき、適切に対応する。</p> <p>③ 法人の経営状況、両病院の役割や医療内容のほか、地域の医療機関との連携等について、ホームページや広報誌等を通じ、積極的な情報発信に取り組み、市民に開かれた病院づくりを進める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種研修制度の拡充や組織の管理体制等の強化により、関係法令や内部規定の遵守などコンプライアンスを徹底する。 ○ 監事（弁護士、公認会計士）及び会計監査人による監査に加え、業務管理や会計処理等に関する内部監査の実施により、内部統制を図るほか、病院として医療法、施設基準等を遵守するなど適正な病院運営を行う。 ○ 個人情報保護及び情報資産に関しては、福岡市の関係条例等及び当法人の情報セキュリティポリシーに基づき、適切に対応するとともに、研修等を通じて職員の教育を徹底するほか、カルテ等の情報公開に関しては、診療録開示委員会を開催して開示の可否を決定する。 ○ 法人の経営状況、各病院の役割や医療内容のほか、地域の医療機関との連携等について、ホームページや広報誌等を通じ、積極的な情報発信に取り組み、市民に開かれた病院づくりを進める。 ○ ホームページについては、市民や医療関係者等に対し最新の情報を発信するため、掲載内容の充実を図るほか、病院の医療機能や診療実績等について、広く市民等に情報発信を行うため、分かりやすい「病院指標」の公開を行う。

中期目標(内容)	<p>市立病院としての使命を適切に果たすため、医療法を始めとする関係法令を遵守することはもとより、行動規範と倫理を確立し、適正な病院運営を行うこと。</p> <p>また、個人情報保護及び情報公開に関しては、福岡市個人情報保護条例（平成17年福岡市条例第103号）及び福岡市情報公開条例（平成14年福岡市条例第3号）に基づき、適切に対応すること。</p> <p>さらに、病院の役割や医療内容等を積極的に情報発信するなど、市民に開かれた病院づくりに努めること。</p>
----------	--

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価		
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど
<p>○ 監督者研修や主任級職員研修など様々な機会を通じて職員の服務規律の指導を徹底し、法人職員として有すべき行動規範と倫理観の確立に努めた。また、監事による業務監査や会計監査、運営本部による内部監査を実施するなど、内部統制の充実を図った。</p> <p>○ 個人情報保護及び情報公開に関しては、福岡市の関係条例等及び当機構の情報セキュリティポリシーに基づき、適切に対応するとともに、研修等を通じて職員の教育を徹底した。また、カルテ等の開示請求に対しては、診療録(カルテ)開示委員会で開示の可否を決定した(こども病院20件、福岡市民病院65件)。</p> <p>○ 市民や医療関係者等に対して最新の情報を発信するため、ホームページにより、トピックスや研修会の案内、広報誌の内容など随時最新の情報を提供するとともに、「病院指標」を公開し、一般の人に分かり易い解説に努めた。</p> <p>なお、福岡市民病院においては、日本病院会並びに全国自治体病院協議会に提出している指標(23項目)及び院内で設定した新たな指標について、平成29年度からホームページ等での公開を行うべく準備を開始した。</p> <p>○ こども病院については、各診療科の医師が交代で、小児医療のトピックス等に関するコラムを新聞社2社に計43回に亘って掲載し、市民目線での分かりやすい啓発に努めたほか、雑誌、テレビ等の取材に積極的に対応するなど、メディアを介して小児・周産期医療に関する情報発信を行った。</p> <p>さらに、初の試みとして、従来の講演会形式を変更し、参加・体験型の「こども病院フェスタ」を開催し、650名以上の来場者を得るなど、市民に開かれた病院づくりに努めた。</p>	1	3	1	3	<p>監督者研修などによる職員の服務規律の指導の徹底や監事による業務監査などでの内部統制の充実を図り、福岡市の関係条例等に基づいた個人情報保護及び情報公開の対応を行うとともに、福岡市民病院において、病院指標のホームページでの公開の準備を進め、また、福岡市立こども病院においては、こども病院フェスタの開催など、市民に開かれた病院づくりに努めていることから、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。</p>

中期目標(項目)	<p>第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項</p> <p>1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実</p>
----------	---

中期計画	年度計画
<p>第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実</p> <p>① 理事会を適正に運営し、外部理事等の助言に基づく民間的経営手法も取り入れながら自律的な法人経営を行う。</p> <p>② 医療情勢の変化や患者のニーズに効果的な対応ができるよう、病院長のリーダーシップの下、各病院の実態に即した機動性の高い病院経営を行う。</p>	<p>○ 理事会を適正に運営し、外部理事等の助言に基づく民間的経営手法も取り入れながら自律的な法人経営を行う。</p> <p>○ 医療情勢の変化や患者のニーズに効果的な対応ができるよう、病院長のリーダーシップの下、各病院の実態に即した機動性の高い病院経営を行う。</p>

中期目標(内容)	地方独立行政法人制度の特長を活かし、各病院が自らの特性や実情を踏まえ、より機動的に業務改善ができるよう、各病院において病院長がリーダーシップを発揮し、自律性を発揮できる運営管理体制の充実を図ること。
----------	---

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価			
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 市立病院機構の運営を的確に行うため、理事会を計10回開催し、理事会の決定方針に沿った運営を行った。 ○ 両病院ともに、病院長のリーダーシップの下、医療情勢の変化や患者のニーズに効果的な対応ができるよう、執行部会議や経営五役会議をはじめ、所属長会議等において情報の共有化を図り、病院の実態に即した機動性の高い病院経営に取り組んだ。 ○ こども病院においては、より効率的な運営に取り組むことを目的として、9月から職員提案制度を開始し、職員から建設的なアイデアを幅広く募集した。 	1	3	1	3	市立病院機構の的確な運営のための理事会の開催及び理事会の決定方針に沿った運営が行われ、両病院ともに、病院長のリーダーシップの下、執行部会議等において情報の共有化が図られており、自律性を発揮した運営管理体制が整備されていることから、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。	

中期目標(項目)	<p>第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項</p> <p>2 事務部門等の専門性の向上</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>2 事務部門等の専門性の向上</p> <p>① 病院経営に関する知識・経験を有する人材をプロパー職員として計画的に採用し、事務部門及び経営管理部門の専門性の向上を図る。</p> <p>② 医療を取り巻く情報を的確に収集・分析し経営に反映するなどの戦略機能を強化するため、経営に関する研修やO J T (On the Job Training) の充実を図り、経営感覚に優れた職員の育成に努める。</p>	<p>○ 独立行政法人化以降に採用した事務職員について、職員個々の能力向上並びに事務部門及び経営管理部門の専門性の向上を図るため、病院経営に関する研修やO J T (On the Job Training) の充実を図り、経営感覚に優れた職員の育成に努める。</p>

中期目標(内容)	事務部門等においては、病院運営に関する専門知識や経営感覚を持ったプロパー職員の計画的な採用に努めるとともに、経営手法の企画・立案に関する戦略機能を強化するため、各病院の経営支援を的確に行える人材の育成に努めること。
----------	---

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価			
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど	
<ul style="list-style-type: none"> ○ マネジメント能力向上等を目的として、全職種を対象とした監督者研修のほか、主任級職員に対する研修を実施した。 ○ こども病院においては、事務職員を対象に、業務研修をはじめ倫理研修や人権研修等を実施した。 ○ 福岡市民病院においては、文書及び人権・接遇に関する院内研修を実施するとともに、全国地方独立行政法人病院協議会が開催する財務・人事セミナーに新規採用職員2人を、全日本病院協会が開催する経営セミナーに中堅職員1人を参加させ、事務職員の能力向上に努めた。 	1	3	1	3	<p>マネジメント能力向上等を目的とした全職員対象の監督者研修や主任研修を実施するとともに、事務職員を対象とした研修の実施、外部の研修へ職員を参加させるなど、事務部門等における専門性の向上を図っていることから、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。</p>	

中期目標(項目)	<p>第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項</p> <p>3 意欲を引き出す人事・給与制度等の導入</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>3 意欲を引き出す人事・給与制度等の導入</p> <p>① 職員満足度調査等の実施により職員のニーズを把握し、職員の意欲を引き出す人事制度を構築するとともに、福利厚生の実施や職場環境の改善に努める。</p> <p>② 病院の業績を考慮し、かつ、社会一般の情勢に適合した給与制度を維持し、人件費の適正化を図る。</p> <p>③ 職員の業績や貢献度等を適正に評価し、評価結果を給与に反映させる人事評価制度について、医師に本格導入するとともに、他の職種への導入についても検討を進める。</p>	<p>○ 職員のニーズに対応した福利厚生の実施や職場環境の改善に努めるとともに、職員の意欲を引き出す人事制度を構築する。</p> <p>○ 病院の業績を考慮し、かつ、社会一般の情勢に適合した給与制度を維持し、人件費の適正化を図る。</p> <p>○ 平成27年度より医師以外の職種（管理職）を対象とした目標管理制度を試行しており、その効果等を検証しながら、本格実施に向けた検討を進める。</p> <p>○ 労働契約法の改正を踏まえ、有期職員の無期労働契約への転換や正規職員への登用等諸制度の整備に向けた検討を進める。</p>

中期目標(内容)	<p>職員の意欲を引き出す人事制度を構築し、職員の業績や能力を的確に評価するための公正かつ客観的な人事評価システムの導入に努めること。</p> <p>また、病院の業績等に応じた給与制度を導入し、職員のモチベーションの維持・向上及び人件費の適正化を図ること。</p> <p>さらに、福利厚生充実や職場環境の整備など、職員が働きやすい環境の確保に努めること。</p>
----------	---

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価			
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 病院の業績を考慮し、かつ、社会一般の情勢に適合した給与制度とするため、給料表や諸手当等の改定を行った。 ○ 医師以外の管理職を対象とする管理職目標管理制度を引き続き試行実施し、将来的には職員の業績や貢献度等を給与に反映できるよう、関係者から意見を聴取しながら本格実施に向け検討を進めた。 ○ 他の企業等における先行事例を踏まえながら、有期職員の無期雇用労働契約への転換等に関する制度の構築に向け検討を進めた。 ○ 福岡市民病院においては、ワーク・ライフ・バランス推進委員会において、全職員を対象とした人事制度説明会を開催したほか、各所属への要望調査の結果等を踏まえ、年次有給休暇の取得率向上に向けた取組を実施した。 	1	3	1	3	<p>管理職目標管理制度の本格実施に向けた検討を進め、有期職員の無期雇用労働契約への転換等に関する制度構築に向けた検討やワーク・ライフ・バランス推進委員会における全職員を対象とした人事制度説明会を開催するなど、職員の意欲を引き出す取組を行っていることから、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。</p>	

中期目標(項目)	<p>第4 財務内容の改善に関する事項</p> <p>1 経営基盤の強化 (1) 運営費負担金の縮減に向けた経営基盤の確立</p>
----------	---

中期計画	年度計画
<p>第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 経営基盤の強化</p> <p>(1) 運営費負担金の縮減に向けた経営基盤の確立</p> <p>① 運営費負担金の対象となる不採算医療部門については、収支差の圧縮に向けた更なる経営の効率化に取り組み、運営費負担金の縮減に努める。</p> <p>② 新病院の開院に伴う施設整備費の償還など、今後、運営費負担金の増額要因が加わるため、新病院稼働後は早期の安定経営を目指すことに加え、市立病院機構全体でこれまで以上の経営努力を行う。</p>	<p>○ 運営費負担金の縮減に向けた経営基盤を確立するため、不採算医療部門については、収支差の圧縮に向け、経営改善のために取り組むべき課題を明確にし、増収及び費用削減に取り組むとともに、月次決算の実施など経営に関する情報を迅速に把握し、部門ごとの経営状況の分析や他病院との比較分析を行うなど、効率的な病院経営を行う。</p> <p>また、部門ごとに具体的な目標を設定し、その達成状況を適宜確認するなど経営管理を徹底する。</p> <p>○ 新病院の開院に伴う施設整備費の償還などに伴い増額した運営費負担金の抑制に向け、新病院において更なる病床稼働率の向上に取り組むとともに、市立病院機構全体でこれまで以上の経営努力を行い、経営基盤の確立に努める。</p> <p>また、旧病院施設等については、建物を解体するとともに、跡地の売却について検討を進めていく。</p>

中期目標(内容)	福岡市の厳しい財政状況を踏まえると、引き続き市立病院機構全体の運営費負担金の縮減が求められることから、更なる経営の効率化や健全化に向けた取組を進め、安定した経営基盤を確立すること。
----------	--

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価			
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど	
<p>○ 毎月、市立病院機構の経営幹部（理事長，副理事長，運営本部長，病院事務部長，看護部長）で構成する「経営会議」を開催し，月次の経営管理諸表により，随時，経営状況を検証するとともに，四半期ごとに課題を分析のうえ，適切な改善策を講じるなどの経営管理を徹底した。</p> <p>また，各病院においても，執行部会議や経営五役会議など定期的に開催し，速報ベースでの月次予決算報告等を行うとともに，積極的な増収対策や費用削減と併せ効率的な病院経営について検討を重ね，決定事項等については迅速に職員全体への周知を図った。</p> <p>○ 運営費負担金の抑制に向け，こども病院において更なる病床利用率の向上に取り組むなど，市立病院機構全体でこれまで以上の経営努力を行い，経営基盤の確立に努めた。</p> <p>また，旧こども病院建物については解体工事を完了し，土地の売却に向け，福岡市と協議を進めた。</p>	2	3	2	3	<p>経営管理諸表による経営状況の検証や四半期ごとの課題の分析により改善策を講じるなどの経営管理を徹底するとともに，両病院で定期的な執行部等の会議を開催し，増収対策や費用削減等の検討による決定事項等を迅速に職員へ周知するなど，安定した経営基盤の確立に向けた取組が行われていることから，年度計画を順調に実施していると判断されるため，「評価3」とする。</p>	

中期目標(項目)	<p>第4 財務内容の改善に関する事項</p> <p>1 経営基盤の強化 (2) 投資財源の確保</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 経営基盤の強化</p> <p>(2) 投資財源の確保</p> <p>独立採算制を前提とした公営企業型地方独立行政法人の会計制度の趣旨に鑑み、今後の投資計画を踏まえた自己財源の確保に努める。</p>	<p>○ 独立採算制を前提とした公営企業型地方独立行政法人の会計制度の趣旨に鑑み、今後予定している福岡市民病院における空調・給排水等の設備の改修や高額医療機器の更新等に関する計画を策定し、その実施に向けた財源の確保に努める。</p>

中期目標(内容)	施設整備や高額医療機器の更新など、今後の投資計画を踏まえながら、自己財源の確保に努めること。
----------	--

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価			
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 自己財源の確保対策として、収支改善による利益の確保とともに、複数の金融機関を対象に定期預金の利率の入札を継続して実施し、積立金運用益の確保を図った。 ○ 今後の施設整備や高額医療機器の更新等を見据え、価格交渉の徹底等により必要な医療機器を確保しつつ費用の抑制を図るなど、効率的に予算を執行し、自己財源の確保に努めた。 <p>なお、福岡市民病院においては、アセットマネジメントの考え方に基づいた10年間(平成29年度から38年度)の施設・設備の整備計画を策定するとともに、高額医療機器の更新計画を策定した。</p>	1	3	1	3	<p>定期預金の利率入札による積立金運用益の確保や、価格交渉の徹底等による費用の抑制を図り、今後の投資計画を踏まえた自己財源の確保に努めていることから、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。</p>	

中期目標(項目)	第4 財務内容の改善に関する事項 2 収支改善 (1) 増収
----------	-----------------------------------

中期計画	年度計画
<p>第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>2 収支改善</p> <p>(1) 増収</p> <p>① 診療体制の充実等による医療の高度化に取り組むとともに、効率的な病床管理や高度医療機器の稼働率向上に努め、収入増を図る。</p> <p>② 診療報酬改定等の医療情勢の変化に迅速に対応して適切な施設基準の取得を行い、収入の確保に努める。</p> <p>③ 診療報酬請求に係るチェック体制を強化するとともに、医療費の未収金発生防止や確実な回収に努める。</p> <p>④ こども病院については、新病院への移転に伴い、患者の安全を最優先とするため、移転前後は診療行為の一部が制限されるが、その影響を最小限に止めるよう努力する。</p> <p>⑤ 福岡市民病院については、年々増加傾向にある市内の救急搬送状況に対応するため、救急部の医師・看護師を増員するとともに救急診療室を拡張し、救急搬送受入件数の拡大を図る。</p>	<p>ア 福岡市立こども病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 循環器センター(循環器科, 心臓血管外科), 周産期センター(産科, N I C U, G C U) 及び手術・集中治療センター(手術部, P I C U, H C U) の稼働率の更なる向上に向け、院内の診療体制を強化する。 ○ 産科病棟内にM F I C U (母体・胎児集中治療室) を設置し、重症患者の円滑な受入れに取り組むとともに、総合周産期特定集中治療室管理料の施設基準の取得に取り組む。 ○ 診療報酬改定の年度にあたることから、全国こども病院診療情報管理研究会等のネットワークを通じて情報収集を行い、適時適切な施設基準の取得に取り組む。 ○ レセプトチェックシステムを最大限に活用し、査定減の内容分析や対策を行うとともに、医師との情報共有及び連携強化により診療報酬請求の精度向上を図る。 <p>また、医療ソーシャルワーカーによる患者相談の充実、督促業務に精通した事務職員の配置等により、医療費の未収金発生防止に努めるとともに、電話、文書による督促や個別相談及び少額訴訟の活用等により、未収金の確実な回収を図る。</p>

中期目標(内容)	<p>診療体制の充実や効率的な病床利用及び高度医療機器の稼働率向上に努めるとともに、診療報酬改定等の医療環境の変化に的確に対応し、増収を目指すこと。</p> <p>また、医療費の未収金発生の防止や確実な回収に努めること。</p>
----------	--

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価			
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど	
<p>ア 福岡市立こども病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 効率的な病床管理による病床利用率の向上を図るとともに、重症例や外科系学会社会保険委員会連合(外保連)の技術難易度D、Eクラスの手術の増加に伴い、1日当たりの診療単価も高額となり、入院収益は76億円余で、前年度より10億円余の増となった。 ○ 重症度の高い患者の増加に対応するため、集中治療系病床の再編により、12月からNICU12床を18床へと6床増床し、先天性心疾患や双子の超低出生体重児等の重症患者の円滑な受入に取り組んだ結果、総合周産期特定集中治療室管理料及び手術における新生児加算の算定患者の増加に繋がった。 ○ 6月に設置したMFICUについて、人員体制の整備等を行い、8月から総合周産期特定集中治療室管理料の算定を開始した。 ○ 診療報酬改定に際しては、全国こども病院診療情報管理研究会を通じて迅速な情報収集等及び適切な維持管理に努めた。 ○ 医師・看護師・薬剤師等多職種が参加する「保険診療ワーキングチーム」を毎月開催し、査定・再審査の検討や診療報酬請求の精度向上を図り、査定率は0.1%と低く抑えられた。 ○ 長期滞納者に対する法的措置として、少額訴訟2件、通常訴訟1件、裁判所による支払督促3件を実施した。 	2	4	2	4	<p>効率的な病床管理による病床利用率の向上を図り、集中治療系病床の再編などにより重症患者の円滑な受入に取り組むとともに、人員体制の整備などによる施設基準の取得などの増収対策により、入院収益が前年度比10億円の増となったことから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。</p>	

中期計画			年度計画		
【目標値】《再掲》			【目標値】《再掲》		
指標	こども病院（新病院）		指標	福岡市立こども病院	
	平成23年度 実績値	平成28年度 目標値		平成26年度 実績値	平成28年度 目標値
1人1日当たり 入院単価（円）	100,367	97,700	1人1日当たり 入院単価（円）	104,104	96,500
1人1日当たり 外来単価（円）	11,966	12,900	1人1日当たり 外来単価（円）	11,405	12,900
1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））	145.9 (76.8)	208.5 (89.5)	1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））	127.6 (61.4)	202.3 (84.6)
新規入院患者数（人）	4,899	6,400	新規入院患者数（人）	4,242	6,100
平均在院日数（日）	9.9	11.9	平均在院日数（日）	10.0	11.9
1日当たり 外来患者数（人）	276.7	387.4	1日当たり 外来患者数（人）	258.1	290.0
手術件数（件）	2,212	2,720	手術件数（件）	1,877	2,720
救急搬送件数（件）	639	1,020	救急搬送件数（件）	589	1,020

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価																															
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																													
<p>【実績値】《再掲》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市立こども病院</th> </tr> <tr> <th>平成27年度 実績値</th> <th>平成28年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1人1日当たり 入院単価（円）</td> <td>96,877</td> <td>101,587</td> </tr> <tr> <td>1人1日当たり 外来単価（円）</td> <td>12,458</td> <td>12,378</td> </tr> <tr> <td>1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））</td> <td>184.4 (78.0)</td> <td>205.6 (86.0)</td> </tr> <tr> <td>新規入院患者数（人）</td> <td>6,038</td> <td>6,429</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数（日）</td> <td>10.2</td> <td>10.7</td> </tr> <tr> <td>1日当たり 外来患者数（人）</td> <td>288.9</td> <td>329.3</td> </tr> <tr> <td>手術件数（件）</td> <td>2,447</td> <td>2,695</td> </tr> <tr> <td>救急搬送件数（件）</td> <td>1,028</td> <td>1,178</td> </tr> </tbody> </table>	指標	福岡市立こども病院		平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	1人1日当たり 入院単価（円）	96,877	101,587	1人1日当たり 外来単価（円）	12,458	12,378	1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））	184.4 (78.0)	205.6 (86.0)	新規入院患者数（人）	6,038	6,429	平均在院日数（日）	10.2	10.7	1日当たり 外来患者数（人）	288.9	329.3	手術件数（件）	2,447	2,695	救急搬送件数（件）	1,028	1,178					
指標		福岡市立こども病院																																
	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値																																
1人1日当たり 入院単価（円）	96,877	101,587																																
1人1日当たり 外来単価（円）	12,458	12,378																																
1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））	184.4 (78.0)	205.6 (86.0)																																
新規入院患者数（人）	6,038	6,429																																
平均在院日数（日）	10.2	10.7																																
1日当たり 外来患者数（人）	288.9	329.3																																
手術件数（件）	2,447	2,695																																
救急搬送件数（件）	1,028	1,178																																

中期目標(項目)	第4 財務内容の改善に関する事項 2 収支改善 (1) 増収
----------	-----------------------------------

中期計画	年度計画
<p>第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>2 収支改善</p> <p>(1) 増収</p> <p>① 診療体制の充実等による医療の高度化に取り組むとともに、効率的な病床管理や高度医療機器の稼働率向上に努め、収入増を図る。</p> <p>② 診療報酬改定等の医療情勢の変化に迅速に対応して適切な施設基準の取得を行い、収入の確保に努める。</p> <p>③ 診療報酬請求に係るチェック体制を強化するとともに、医療費の未収金発生防止や確実な回収に努める。</p> <p>④ こども病院については、新病院への移転に伴い、患者の安全を最優先とするため、移転前後は診療行為の一部が制限されるが、その影響を最小限に止めるよう努力する。</p> <p>⑤ 福岡市民病院については、年々増加傾向にある市内の救急搬送状況に対応するため、救急部の医師・看護師を増員するとともに救急診療室を拡張し、救急搬送受入件数の拡大を図る。</p>	<p>イ 福岡市民病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、高度救急医療体制の充実を図り、脳疾患・循環器疾患とともに、重症外傷等の重篤な救急患者の受入れ及び手術件数の増加を図る。 ○ 高度医療を担う分野である神経内科に脳血管内治療の専門医を配置し、高度専門医療の更なる拡充を図る。また、血管造影装置を更新し、脳神経・脳卒中救急を積極的に受け入れることで、脳血管内治療件数の増加を図る。 ○ 循環器内科において、経皮的心筋焼灼術（アブレーション）を本格導入し、手術件数の増加につなげる。 ○ 地域医療支援病院としての役割を踏まえ、紹介患者増加に向け、開放型登録医数の拡大を図るほか、開放型病床・大型医療機器等の共同利用を更に推進し、稼働率の向上を図る。 ○ 診療報酬改定の年度にあたることから、適時適切な施設基準の取得に取り組む。 ○ 未収金に対しては、電話、文書による督促や個別相談及び少額訴訟の実施等により確実な回収を図るとともに、回収困難案件に関しては、弁護士事務所への業務委託を継続して行う。

中期目標(内容)	<p>診療体制の充実や効率的な病床利用及び高度医療機器の稼働率向上に努めるとともに、診療報酬改定等の医療環境の変化に的確に対応し、増収を目指すこと。</p> <p>また、医療費の未収金発生防止や確実な回収に努めること。</p>
----------	---

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価		
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど
<p>イ 福岡市民病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域医療連携室を中心に各診療科との調整を行い、救急医療体制の更なる充実を図った結果、救急搬送からの入院患者数は増加した(27年度1,174名→28年度1,221名)。また、消化器内科医の増員などにより手術件数は増加し、年間の手術件数は3,100件と目標値を上回った。 ○ 4月より脳神経血管内治療部を新設し、専門医2名体制で診療に従事するとともに、6月に血管造影撮影装置を更新し、高度専門医療体制の拡充を図った結果、経皮的脳血管手術等の血管内手術件数は増加した(27年度68件→28年度72件)。 ○ 循環器内科においては「不整脈外来」を開始し、経皮的カテーテル心筋焼灼術を本格的に導入した結果、実施件数は倍増した(27年度18件→28年度38件)。 ○ 地域医療連携室による新規医療機関を中心とした積極的な訪問、案内を実施した結果、開放型登録医数は大幅に増加した(27年度174名→28年度270名)。 ○ 今年度の診療報酬改定の中で特に影響が大きい7対1入院基本料における「重症度、医療・看護必要度」の要件見直しについては、電子カルテデータのチェック体制を整備し、より正確な評価を行うことにより、当該施設基準を維持することができた。 ○ 3月から「リハビリテーション科」を開業・標榜し、初期加算の算定を開始するとともに、心大血管疾患リハビリテーションの施設基準を(Ⅱ)から(Ⅰ)に引き上げ、急性期リハビリテーション提供体制の更なる充実を図った。 ○ 未収金の回収困難案件について、弁護士事務所への業務委託を継続し回収に努めるとともに、高額療養費の限度額認定証の事前申請等を推進し、未収金の発生防止を図った。 	2	3	2	3	<p>救急医療体制の更なる充実を図り、医師の増員による手術件数の増加や、診療報酬改定への適切な対応による施設基準の維持、診療部門等の新設などによる高度専門医療体制の拡充などにより増収に努めたことから、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。</p>

中期計画			年度計画		
【目標値】《再掲》			【目標値】《再掲》		
指標	福岡市民病院		指標	福岡市民病院	
	平成23年度 実績値	平成28年度 目標値		平成26年度 実績値	平成28年度 目標値
1人1日当たり 入院単価（円）	57,617	64,500	1人1日当たり 入院単価（円）	63,763	65,000
1人1日当たり 外来単価（円）	15,413	16,000	1人1日当たり 外来単価（円）	17,609	22,300
1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））	186.0 (93.0)	184.0 (92.0)	1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））	179.5 (89.7)	184.0 (92.0)
新規入院患者数（人）	4,386	4,900	新規入院患者数（人）	4,647	4,800
平均在院日数（日）	12.6	11.6	平均在院日数（日）	11.9	11.6
1日当たり 外来患者数（人）	236.5	250.0	1日当たり 外来患者数（人）	243.8	245.0
手術件数（件）	2,619	2,750	手術件数（件）	2,992	3,050
救急搬送件数（件）	2,323	3,100	救急搬送件数（件）	2,835	2,900

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価																															
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																													
<p>【実績値】《再掲》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成27年度 実績値</th> <th>平成28年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1人1日当たり 入院単価（円）</td> <td>64,749</td> <td>62,434</td> </tr> <tr> <td>1人1日当たり 外来単価（円）</td> <td>22,739</td> <td>22,997</td> </tr> <tr> <td>1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））</td> <td>183.7 (90.1)</td> <td>181.3 (88.9)</td> </tr> <tr> <td>新規入院患者数（人）</td> <td>4,510</td> <td>4,438</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数（日）</td> <td>12.6</td> <td>13.0</td> </tr> <tr> <td>1日当たり 外来患者数（人）</td> <td>234.2</td> <td>229.1</td> </tr> <tr> <td>手術件数（件）</td> <td>3,060</td> <td>3,100</td> </tr> <tr> <td>救急搬送件数（件）</td> <td>2,620</td> <td>2,670</td> </tr> </tbody> </table>	指標	福岡市民病院		平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	1人1日当たり 入院単価（円）	64,749	62,434	1人1日当たり 外来単価（円）	22,739	22,997	1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））	183.7 (90.1)	181.3 (88.9)	新規入院患者数（人）	4,510	4,438	平均在院日数（日）	12.6	13.0	1日当たり 外来患者数（人）	234.2	229.1	手術件数（件）	3,060	3,100	救急搬送件数（件）	2,620	2,670					
指標		福岡市民病院																																
	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値																																
1人1日当たり 入院単価（円）	64,749	62,434																																
1人1日当たり 外来単価（円）	22,739	22,997																																
1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））	183.7 (90.1)	181.3 (88.9)																																
新規入院患者数（人）	4,510	4,438																																
平均在院日数（日）	12.6	13.0																																
1日当たり 外来患者数（人）	234.2	229.1																																
手術件数（件）	3,060	3,100																																
救急搬送件数（件）	2,620	2,670																																

中期目標(項目)	<p>第4 財務内容の改善に関する事項</p> <p>2 収支改善 (2) 費用削減</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>2 収支改善</p> <p>(2) 費用削減</p> <p>① 診療材料等の調達に係る価格交渉の徹底、契約手法や委託業務の見直し及びジェネリック医薬品の使用拡大等を行い、費用の削減を図る。</p> <p>② 両病院ともに施設・設備のアセットマネジメントを推進する。</p> <p>③ 新病院開院後は本部事務局を新病院内に移転するため、病院事務局との業務分担を再編し、本部機能及び病院運営に係る事務処理を効率的・効果的に遂行できる組織体制を構築する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ コストパフォーマンスを考慮した診療材料等の選定やその調達に係る価格交渉の徹底、SPD業務の委託による院内在庫管理の適正化や医療スタッフの業務軽減及びジェネリック医薬品の使用拡大等に取り組み、費用の削減を図る。 ○ 必要な医療機器の選定及び調達にあたっては、費用対効果の検証や価格交渉を徹底し、購入費用等の削減を図る。 ○ 委託業務の契約手法や業務内容の見直しを行い、委託費用のさらなる削減を図る。 ○ アセットマネジメント推進の観点から、施設・設備の長寿命化や投資の平準化を図るとともに、省エネ対策の更なる取組を行うなど、維持修理に係る費用の削減を図る。 ○ 福岡市立こども病院においては、LED照明、太陽光発電及びビルディング・エネルギー・マネジメント・システム(BEMS)を活用して省エネ対策を推進するほか、再生処理水の利用による光熱水費の抑制を図る。

中期目標(内容)	<p>地方独立行政法人の会計制度を活用した効果的・効率的な事業運営に努めるとともに、効果的な費用の削減に努めること。</p> <p>また、計画的な維持修理による施設の長寿命化と投資の平準化、施設運営・保守管理の効率化などのアセットマネジメントを推進すること。</p>
----------	---

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価		
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど
<p>○ こども病院については、医薬品に関し、薬事委員会においてジェネリック医薬品の使用拡大を積極的に検討し、40品目を新規に採用するとともに、SPDを活用して、医薬品を含めた院内の物品を総合的かつ効率的に管理し、適正な在庫管理に努めた。</p> <p>また、委託業務について、特に医療機器の保守委託に関しては、保守内容や故障の頻度等を現場担当者とともに詳細に検証した上で、フルメンテナンスの要不要を検討し、スポット点検等への切替えを行った。また、複数年契約や、同一メーカー機器毎への契約に集約化することで、費用の削減を行った。</p> <p>アセットマネジメント推進の観点から、定期的に設備点検やメンテナンスを実施しながら、病院施設の長寿命化や投資の平準化を目的に、稼働状況に即した15年間の長期建物修繕計画及び設備修繕計画の見直しを行うとともに、ビルディング・エネルギー・マネジメントシステム(BEMS)を活用して、部門別・施設別のエネルギー使用状況データを蓄積するなど、効率的な運転管理を行った。</p> <p>○ 福岡市民病院については、SPD業務見直しにより、院内在庫管理の適正化や汎用品、診療材料の切替えを行うとともに、購入データを活用した納入単価交渉を進めた。</p> <p>また、ジェネリック医薬品の使用拡大を行うなど、費用削減に取り組んだ。</p> <p>高額な医療機器の選定及び調達にあたっては、医療機器選定委員会において性能・価格の検証を十分行うとともに、事務職員だけでなく医師・コメディカル等の医療職とともに価格交渉を徹底して行い、購入費用等の削減を図った。</p> <p>また、委託業者の選定に当たり、新規業者の競争参加や医療機器の保守内容の見直し等を行い、委託費用のさらなる削減を図った。</p> <p>アセットマネジメント推進の観点から、エレベーター(2基)、小荷物専用昇降機及び</p>	2	3	2	3	<p>ジェネリック医薬品の使用拡大に積極的に取組み、SPDを活用した適正な在庫管理に努めるとともに、委託内容の見直し、ビルディング・エネルギー・マネジメントシステムを活用した効率的なエネルギー管理、医療機器の選定等にあたる徹底した価格交渉など費用の削減に努めており、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。</p>

中期計画			年度計画		
【目標値】 (単位：%)			【目標値】 (単位：%)		
指標	こども病院 (新病院)		指標	福岡市立こども病院	
	平成23年度 実績値	平成28年度 目標値		平成26年度 実績値	平成28年度 目標値
給与費対医業収益比率	56.0	52.8	給与費対医業収益比率	68.0	58.9
材料費対医業収益比率	18.6	20.9	材料費対医業収益比率	22.4	19.4
うち薬品費対医業収益比率	6.6	7.5	うち薬品費対医業収益比率	6.6	6.9
うち診療材料費対医業収益比率	11.5	12.4	うち診療材料費対医業収益比率	13.0	11.9
委託費対医業収益比率	6.1	11.2	委託費対医業収益比率	10.3	10.4
ジェネリック医薬品導入率	6.8	8.0	ジェネリック医薬品導入率 ※	7.1 (25.0)	8.0 (65.0)
			※ジェネリック医薬品導入率は品目数の割合で算出しているが、参考として()内に数量による割合を記載している。以下同じ。		
【目標値】 (単位：%)			【目標値】 (単位：%)		
指標	福岡市民病院		指標	福岡市民病院	
	平成23年度 実績値	平成28年度 目標値		平成26年度 実績値	平成28年度 目標値
給与費対医業収益比率	53.9	54.2	給与費対医業収益比率	55.9	56.0
材料費対医業収益比率	25.4	24.0	材料費対医業収益比率	26.7	29.3
うち薬品費対医業収益比率	9.0	8.6	うち薬品費対医業収益比率	8.9	12.0
うち診療材料費対医業収益比率	16.3	15.3	うち診療材料費対医業収益比率	17.7	17.2
委託費対医業収益比率	7.4	7.6	委託費対医業収益比率	6.6	6.8
ジェネリック医薬品導入率	22.8	30.0	ジェネリック医薬品導入率	29.1 (67.8)	32.0 (75.0)

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価																																																
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど																																														
<p>ビル管理システムの一部について、計画的な更新を行い、施設・設備の長寿命化ならびに維持修理に係る費用の削減を図った。</p> <p>【実績値】（単位：％）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市立こども病院</th> </tr> <tr> <th>平成27年度実績値</th> <th>平成28年度実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給与費対医業収益比率</td> <td>58.7</td> <td>54.3</td> </tr> <tr> <td>材料費対医業収益比率</td> <td>21.1</td> <td>19.8</td> </tr> <tr> <td> うち薬品費対医業収益比率</td> <td>8.0</td> <td>6.8</td> </tr> <tr> <td> うち診療材料費対医業収益比率</td> <td>12.9</td> <td>12.3</td> </tr> <tr> <td>委託費対医業収益比率</td> <td>9.9</td> <td>9.2</td> </tr> <tr> <td>ジェネリック医薬品導入率</td> <td>9.7 (47.4)</td> <td>15.6 (81.8)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ジェネリック医薬品導入率は品目数の割合で算出しているが、参考として（ ）内に数量による割合を記載している。以下同じ。</p> <p>【実績値】（単位：％）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成27年度実績値</th> <th>平成28年度実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給与費対医業収益比率</td> <td>55.6</td> <td>59.9</td> </tr> <tr> <td>材料費対医業収益比率</td> <td>30.0</td> <td>29.1</td> </tr> <tr> <td> うち薬品費対医業収益比率</td> <td>12.4</td> <td>11.8</td> </tr> <tr> <td> うち診療材料費対医業収益比率</td> <td>17.5</td> <td>17.2</td> </tr> <tr> <td>委託費対医業収益比率</td> <td>6.4</td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td>ジェネリック医薬品導入率</td> <td>31.9 (69.3)</td> <td>34.1 (87.6)</td> </tr> </tbody> </table>	指標	福岡市立こども病院		平成27年度実績値	平成28年度実績値	給与費対医業収益比率	58.7	54.3	材料費対医業収益比率	21.1	19.8	うち薬品費対医業収益比率	8.0	6.8	うち診療材料費対医業収益比率	12.9	12.3	委託費対医業収益比率	9.9	9.2	ジェネリック医薬品導入率	9.7 (47.4)	15.6 (81.8)	指標	福岡市民病院		平成27年度実績値	平成28年度実績値	給与費対医業収益比率	55.6	59.9	材料費対医業収益比率	30.0	29.1	うち薬品費対医業収益比率	12.4	11.8	うち診療材料費対医業収益比率	17.5	17.2	委託費対医業収益比率	6.4	7.0	ジェネリック医薬品導入率	31.9 (69.3)	34.1 (87.6)					
指標		福岡市立こども病院																																																	
	平成27年度実績値	平成28年度実績値																																																	
給与費対医業収益比率	58.7	54.3																																																	
材料費対医業収益比率	21.1	19.8																																																	
うち薬品費対医業収益比率	8.0	6.8																																																	
うち診療材料費対医業収益比率	12.9	12.3																																																	
委託費対医業収益比率	9.9	9.2																																																	
ジェネリック医薬品導入率	9.7 (47.4)	15.6 (81.8)																																																	
指標	福岡市民病院																																																		
	平成27年度実績値	平成28年度実績値																																																	
給与費対医業収益比率	55.6	59.9																																																	
材料費対医業収益比率	30.0	29.1																																																	
うち薬品費対医業収益比率	12.4	11.8																																																	
うち診療材料費対医業収益比率	17.5	17.2																																																	
委託費対医業収益比率	6.4	7.0																																																	
ジェネリック医薬品導入率	31.9 (69.3)	34.1 (87.6)																																																	

中期目標(項目)	第4 財務内容の改善に関する事項 2 収支改善
----------	----------------------------

中期計画	年度計画																												
第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置 2 収支改善 (3) 収支改善 増収対策及び費用削減の取組を徹底し、純利益の確保に努める。	○ 継続的に増収対策及び費用削減の取組を徹底し、法人全体として経常利益を確保するなど、経営に関する目標値の達成に努める。 特に福岡市立こども病院においては、旧病院の解体費用が生じることから、平成28年度も厳しい経営が予想されるが、新たな施設基準の取得や的確な人員配置などにより、純損失の抑制を図る。																												
【目標値】 (単位：%) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">こども病院 (新病院)</th> </tr> <tr> <th>平成23年度 実績値</th> <th>平成28年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総収支比率</td> <td style="text-align: center;">110.3</td> <td style="text-align: center;">101.9</td> </tr> <tr> <td>経常収支比率</td> <td style="text-align: center;">110.9</td> <td style="text-align: center;">101.9</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率</td> <td style="text-align: center;">92.9</td> <td style="text-align: center;">92.2</td> </tr> </tbody> </table>	指標	こども病院 (新病院)		平成23年度 実績値	平成28年度 目標値	総収支比率	110.3	101.9	経常収支比率	110.9	101.9	医業収支比率	92.9	92.2	【目標値】 (単位：%) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市立こども病院</th> </tr> <tr> <th>平成26年度 実績値</th> <th>平成28年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総収支比率</td> <td style="text-align: center;">95.5</td> <td style="text-align: center;">94.1</td> </tr> <tr> <td>経常収支比率</td> <td style="text-align: center;">98.5</td> <td style="text-align: center;">100.5</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率</td> <td style="text-align: center;">78.1</td> <td style="text-align: center;">88.7</td> </tr> </tbody> </table>	指標	福岡市立こども病院		平成26年度 実績値	平成28年度 目標値	総収支比率	95.5	94.1	経常収支比率	98.5	100.5	医業収支比率	78.1	88.7
指標		こども病院 (新病院)																											
	平成23年度 実績値	平成28年度 目標値																											
総収支比率	110.3	101.9																											
経常収支比率	110.9	101.9																											
医業収支比率	92.9	92.2																											
指標	福岡市立こども病院																												
	平成26年度 実績値	平成28年度 目標値																											
総収支比率	95.5	94.1																											
経常収支比率	98.5	100.5																											
医業収支比率	78.1	88.7																											
【目標値】 (単位：%) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成23年度 実績値</th> <th>平成28年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総収支比率</td> <td style="text-align: center;">114.9</td> <td style="text-align: center;">107.5</td> </tr> <tr> <td>経常収支比率</td> <td style="text-align: center;">115.4</td> <td style="text-align: center;">108.3</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率</td> <td style="text-align: center;">100.7</td> <td style="text-align: center;">98.8</td> </tr> </tbody> </table>	指標	福岡市民病院		平成23年度 実績値	平成28年度 目標値	総収支比率	114.9	107.5	経常収支比率	115.4	108.3	医業収支比率	100.7	98.8	【目標値】 (単位：%) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成26年度 実績値</th> <th>平成28年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総収支比率</td> <td style="text-align: center;">106.2</td> <td style="text-align: center;">103.2</td> </tr> <tr> <td>経常収支比率</td> <td style="text-align: center;">106.7</td> <td style="text-align: center;">103.9</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率</td> <td style="text-align: center;">96.8</td> <td style="text-align: center;">95.4</td> </tr> </tbody> </table>	指標	福岡市民病院		平成26年度 実績値	平成28年度 目標値	総収支比率	106.2	103.2	経常収支比率	106.7	103.9	医業収支比率	96.8	95.4
指標		福岡市民病院																											
	平成23年度 実績値	平成28年度 目標値																											
総収支比率	114.9	107.5																											
経常収支比率	115.4	108.3																											
医業収支比率	100.7	98.8																											
指標	福岡市民病院																												
	平成26年度 実績値	平成28年度 目標値																											
総収支比率	106.2	103.2																											
経常収支比率	106.7	103.9																											
医業収支比率	96.8	95.4																											

中期目標(内容)	
----------	--

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価																	
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど															
<p>○ こども病院については、集中治療系病床の再編および効率的な病床管理や、D・Eクラスの技術難易度の高い手術の増加により、診療単価が高額となり、入院収益は76億円余で、前年度より10億円余の増となった。</p> <p>また、保守委託業務の見直し等による費用削減効果もあり、当期純利益は2億6,300万円余となった。</p> <p>○ 福岡市民病院については、年度当初(4月～7月)に病床利用率が落ち込み、入院収益が目標値を下回る状況が継続したが、SPD業務見直しによる材料費縮減、医療機器の保守内容の見直しによる委託費削減等の対策を図った結果、当期純利益は80万円余となった。</p> <p>○ これらの結果、市立病院機構全体での当期純利益は2億6,400万円余となった。</p>	2	3	2	3	<p>福岡市立こども病院は、効率的な病床運営の取組や難易度の高い手術の実施、費用削減対策などにより収益が大幅に増加し、医業収益比率等の全ての指標において実績値が目標値を上回っており、また、福岡市民病院は、年度当初に病床利用率が落ち込んだものの、SPDの活用や委託の見直しなどによる経費削減対策を図ることで、当期純利益を確保していることから、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。</p>															
<p>【実績値】 (単位：%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市立こども病院</th> </tr> <tr> <th>平成27年度 実績値</th> <th>平成28年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総収支比率</td> <td style="text-align: center;">99.8</td> <td style="text-align: center;">102.6</td> </tr> <tr> <td>経常収支比率</td> <td style="text-align: center;">101.9</td> <td style="text-align: center;">107.0</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率</td> <td style="text-align: center;">87.8</td> <td style="text-align: center;">95.9</td> </tr> </tbody> </table>							指標	福岡市立こども病院		平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	総収支比率	99.8	102.6	経常収支比率	101.9	107.0	医業収支比率	87.8	95.9
指標	福岡市立こども病院																			
	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値																		
総収支比率	99.8	102.6																		
経常収支比率	101.9	107.0																		
医業収支比率	87.8	95.9																		
<p>【実績値】 (単位：%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成27年度 実績値</th> <th>平成28年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総収支比率</td> <td style="text-align: center;">101.3</td> <td style="text-align: center;">100.0</td> </tr> <tr> <td>経常収支比率</td> <td style="text-align: center;">106.0</td> <td style="text-align: center;">100.1</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率</td> <td style="text-align: center;">95.3</td> <td style="text-align: center;">91.2</td> </tr> </tbody> </table>							指標	福岡市民病院		平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	総収支比率	101.3	100.0	経常収支比率	106.0	100.1	医業収支比率	95.3	91.2
指標	福岡市民病院																			
	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値																		
総収支比率	101.3	100.0																		
経常収支比率	106.0	100.1																		
医業収支比率	95.3	91.2																		

中期目標(項目)	<p>第5 その他業務運営に関する重要事項</p> <p>1 新病院の整備及び運営に関する取組</p>
----------	---

中期計画	年度計画
<p>第5 その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 新病院の整備及び運営に関する取組</p> <p>① 新病院の整備については、平成26年11月の開院を目指し、防災対策も含め、着実に事業を進めていく。</p> <p>② 市民に親しまれる病院づくりを推進するため、市民や医療関係者等に対し、新病院の概要や医療機能の拡充内容などを積極的に情報発信する。</p> <p>③ 新病院では医師、看護師を始め医療従事者の増員が必要となるため、開院後の稼働状況に合わせた段階的な採用により医療従事者を確保していく。</p> <p>④ 小児医療、周産期医療を取り巻く状況や医療環境の変化等を踏まえ、新病院が求められる役割を果たすために必要な病床の確保などの適切な対応に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 看護師・助産師を増員のうえ教育・研修を実施しながら、周産期センター及び手術・集中治療センターの体制を段階的に整備し、重症患者の円滑な受入れや手術症例の増加等、機能の拡充を図る。 ○ 周産期医療の更なる充実を図るため、産科病棟内にMFICU（母体・胎児集中治療室）を設置し、重症患者の円滑な受入れに取り組む。 ○ 整形・脊椎外科，脳神経外科，小児神経科，新生児科，内分泌・代謝科の連携により，運動器疾患への集学的な管理を強化するため，患者の受入，手術，術後のフォローまでを一貫して対応する運動器センターを新設する。 ○ 福岡市在住又は観光旅行等で福岡を訪れている外国人の子どもたちへの医療提供が必要となった場合に，適切な医療を円滑に実施するため，国際医療支援センターを設置する。 ○ 新病院の開院に合わせてリニューアルしたホームページについては，市民や医療関係者等に対し最新の情報を発信するため，掲載内容の充実を図るほか，病院の医療機能や診療実績等について，広く市民等に情報発信を行うため，分かりやすい「病院指標」の公開を行う。

<p>中期目標(内容)</p>	<p>新病院の整備については、こども病院移転計画調査委員会において指摘のあった防災対策などについて十分配慮し、株式会社FCHパートナーズとの連携強化を図りながら、平成26年11月の開院を目指すとともに、地域住民に対する積極的な情報発信などにより、市民に親しまれる病院づくりに努めること。</p> <p>また、開院後において、円滑な病院運営及び質の高いサービスの提供を行えるよう、医療従事者の確保など、必要な取組を着実にを行うこと。</p> <p>さらに、小児医療、周産期医療を取り巻く状況や医療環境の変化等を踏まえ、新病院が求められる役割を果たすため、引き続き必要となる病床の確保に努めること。</p>
-----------------	---

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価		
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど
<ul style="list-style-type: none"> ○ 高度小児専門医療を担う病院として、特に重症度の高い先天性心疾患患児の円滑な受入れに取り組み、P I C U (特定集中治療室) 及びH C U (重症治療室) の病床利用率、並びに手術件数は前年度を上回った。 ○ 新たな取組として、4月に運動器疾患への集学的な管理を目的とした運動器センターを設置し、チーム医療による適切な診断を行うとともに、総合的かつ効果的な治療を実践した。 ○ 平成27年度に設置した川崎病センターは、厚生労働省DPC公開データにおいて、成人を含む全国のDPC病院の中で症例数が一位となる等、順調に成果を挙げた。同様に、先天性心疾患に係る手術症例数についても、全国一位となった。 ○ 周産期医療については、6月にM F I C U (6床) を新設するとともに、麻酔科・手術部の24時間即応体制を確保し、さらに、12月には病床再編によりN I C U を6床増床するなど、胎児ハイリスク症例や双子の超低出生体重児等、重症度の高い症例の円滑な受入体制及び緊急時対応の整備に取り組んだ。 ○ 小児・周産期医療の更なる発展のため、臨床研究や治験にも積極的に取り組むことを目的として、臨床研究部を設置し、文部科学省から研究機関の指定を受けた。 ○ 市内在住や旅行客等の外国人患者への医療提供を円滑に実施することを目的として、4月に国際医療支援センターを設置し、11カ国30人の受診者に言語サポート等の支援を行った。 ○ これらの取組や、最新の医療情報等については、ホームページの更新やテレビ・新聞等のメディアを介して、逐次情報発信を行った。また、10月から、病院の医療機能や診療実績等に関する「病院指標」をホームページ上に公開した。 ○ 5月に、美しい景観の創出を図ることを目的とした福岡県屋外広告景観賞において、最優秀屋外広告景観賞を受賞した。 	2	5	2	5	<p>運動器センターの新設による医療機能の充実や医療従事者の確保による診療体制の構築が着実に図られており、この2年余りでフル稼働に近い状態にまで至っている。また、収支面では効率的な病床管理等により黒字化を果たすなど、短期間で経営の健全化が図られたことを高く評価し、年度計画を大幅に上回って実施していると判断されるため、「評価5」とする。</p>

中期目標(項目)	<p>第5 その他業務運営に関する重要事項</p> <p>2 福岡市民病院における経営改善の推進</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>第5 その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置</p> <p>2 福岡市民病院における経営改善の推進</p> <p>① 福岡市民病院については、引き続き高度専門医療、高度救急医療を提供するとともに、福岡市における感染症医療の一翼を担うなど、市立病院として求められる役割を果たす。</p> <p>② 平成23年度の医業収支黒字化を踏まえ、引き続き経営の効率化に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 救急診療棟の効率的な運用及び高度専門医療の更なる充実を図るとともに、新型インフルエンザ等の対応や災害時の対応など市立病院として求められる役割を果たす。 ○ SPD（専門業者による診療材料等管理システム）の本格導入により、物流・在庫管理を徹底するとともに、価格交渉のノウハウの活用により診療材料費の価格低減を図るなど、引き続き経営の効率化を図り、医業収支の更なる改善に努める。

中期目標(内容)	福岡市民病院の経営改善については、地方独立行政法人化後2年目で病院開設以来初となる医業収支の黒字化を達成するなど、順調に進んでいるところであるものの、福岡市の厳しい財政状況を踏まえ、市立病院として担うべき医療を着実にやりながら、引き続き経営の効率化に努めること。
----------	---

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価			
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 医療法で定められた医療計画における4疾病(がん, 脳卒中, 急性心筋梗塞及び糖尿病)への対応を中心に、脳血管内治療や循環器領域におけるカテーテル治療を始めとした難易度・専門性の高い手術及び検査を実施し、高度専門医療、高度救急医療の更なる充実を図った。 ○ 救急診療棟の第2種感染症病床において、11月に福岡市保健福祉局からの要請により、九州で初のMER S疑似症患者(外国人)2人の受入れを行うとともに、1月には福岡検疫所と合同で「博多港新型インフルエンザ検疫措置訓練」を開催し、新型インフルエンザ発生時における関係機関との連携体制の確立を図った。 ○ 4月の熊本地震においては、九州自治体病院災害相互応援協定に基づく熊本市民病院長からの応援要請を受け、救援物資の提供及び医療支援班の派遣を行うなど、市立病院として求められる役割を果たした。 ○ SPDの本格導入により、院内物流・在庫管理を効率化するとともに、購入データの活用により、汎用品や診療材料の切替えや価格削減を進めることで診療材料費の抑制を図った。 ○ これまでの経営改善にかかる実績が評価され、総務省の「公立病院経営改革事例集」に顕著な成果を上げている事例として紹介されるとともに、全国自治体病院開設者協議会会長及び全国自治体病院協議会会長による自治体立優良病院表彰(両協議会会長表彰)を受賞した。 	2	3	2	3	<p>難易度・専門性の高い手術や検査の実施による高度専門医療・高度救急医療の更なる充実を図っている。九州で初のMER S疑似症患者の受入や熊本地震での積極的な支援対応など、実際の災害発生時に市立病院としての役割を果たしている。また、徹底した費用削減対策により経営の効率化に努め、その実績は総務省等対外的にも評価されるなど年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。</p>	

第5 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画
 ※財務諸表及び決算報告書を参照

第6 短期借入金の限度額

中期計画	年度計画	実績
1 限度額 2,000百万円 2 想定される短期借入金の発生事由 ア 業績手当（賞与）の支給等による一時的な資金不足への対応 イ 予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等，偶発的な出費への対応	1 限度額 2,000百万円 2 想定される短期借入金の発生事由 ア 業績手当（賞与）の支給等による一時的な資金不足への対応 イ 予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等，偶発的な出費への対応	該当なし

第7 重要な財産を譲渡し，又は担保に供する計画

中期計画	年度計画	実績
なし	なし	該当なし

第8 剰余金の使途

中期計画	年度計画	実績
決算において剰余を生じた場合は，病院施設の整備，医療機器の購入，教育・研修体制の充実等に充てる。	決算において剰余を生じた場合は，病院施設の整備，医療機器の購入，教育・研修体制の充実等に充てる。	平成28年度は，決算において剰余を生じたので，平成29年度以降における病院施設の整備，医療機器の購入，教育・研修体制の充実等に充てる予定である。

第9 地方独立行政法人福岡市立病院機構の業務運営等に関する規則で定める業務運営に関する事項

中期計画	年度計画	実績																		
<p>1 施設及び設備に関する計画 (平成25年度から平成28年度まで)</p> <p style="text-align: center;">(単位：百万円)</p> <table border="1" data-bbox="135 376 544 510"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>予定額</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設, 医療機器等整備</td> <td>17,571</td> <td>福岡市長期借入金等</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 人事に関する計画</p> <p>職員の意欲を引き出す人事制度を構築するとともに、教育・研修体制の充実等により、職員のモチベーションの維持・向上を図る。</p> <p>また、適材適所を基本とした柔軟な人事配置を行うとともに、有期職員の活用やアウトソーシングの検討を積極的に行い、効果的・効率的な組織運営体制の構築を図る。</p>	施設及び設備の内容	予定額	財源	病院施設, 医療機器等整備	17,571	福岡市長期借入金等	<p>1 施設及び設備に関する計画 (平成28年度)</p> <p style="text-align: center;">(単位：百万円)</p> <table border="1" data-bbox="585 376 994 510"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>予定額</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設, 医療機器等整備</td> <td>540</td> <td>福岡市長期借入金等</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 人事に関する計画</p> <p>職員の意欲を引き出す人事制度の構築や教育・研修体制の充実等に取り組む。</p> <p>また、職員の能力や適性等に応じた適材適所の人事配置や有期職員の活用等により、効果的・効率的な組織運営を推進する。</p>	施設及び設備の内容	予定額	財源	病院施設, 医療機器等整備	540	福岡市長期借入金等	<p>1 施設及び設備に関する計画 (平成28年度)</p> <p style="text-align: center;">(単位：百万円)</p> <table border="1" data-bbox="1035 376 1460 510"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>決定額</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設, 医療機器等整備</td> <td>654</td> <td>福岡市長期借入金等</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 人事に関する計画</p> <p>人事制度の構築については、平成27年度から試行を開始した医師以外の管理職を対象とする管理職目標管理制度について、将来的には職員の業績や貢献度等を給与に反映できるよう、評価手法や目標設定のあり方等について関係者から意見を聴取し検討を進めた。</p> <p>教育・研修体制の充実については、運営本部においてマネジメント能力向上を目的に、全職種を対象とした監督者研修及び主任級研修を実施したほか、各病院においても外部講師の活用による院内研修の実施や外部研修の受講を推進するなど研修体制の充実に努めた。</p> <p>人材育成や組織の活性化を図るため、適材適所の人事配置に努めたほか、有期職員をこども病院に116人、福岡市民病院に113人及び運営本部に1人配置するなど、効果的・効率的な組織運営を推進した。</p> <p>※有期職員の人数は平成28年5月1日現在</p>	施設及び設備の内容	決定額	財源	病院施設, 医療機器等整備	654	福岡市長期借入金等
施設及び設備の内容	予定額	財源																		
病院施設, 医療機器等整備	17,571	福岡市長期借入金等																		
施設及び設備の内容	予定額	財源																		
病院施設, 医療機器等整備	540	福岡市長期借入金等																		
施設及び設備の内容	決定額	財源																		
病院施設, 医療機器等整備	654	福岡市長期借入金等																		

地方独立行政法人福岡市立病院機構 業務実績評価の方針

平成22年11月10日

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会決定

地方独立行政法人法第28条第1項及び第30条第1項の規定に基づき、地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会（以下「評価委員会」という。）が実施する地方独立行政法人福岡市立病院機構（以下「法人」という。）の業務実績に関する評価（以下「評価」という。）については、以下の方針に基づき行うものとする。

1 基本方針

- (1) 評価は、法人が中期目標を達成するために、業務運営の改善及び効率化が進められること及び法人の質的向上に資することを目的として行うものとする。
- (2) 評価は、年度計画及び中期計画の実施状況を確認及び分析し、法人の業務運営等について総合的に判断して行うものとする。
- (3) 年度計画及び中期計画を実現するために、法人として特色ある取組や様々な工夫を行った場合は積極的に評価することとし、単に実績数値にとらわれないものとする。
- (4) 評価方法については、法人を取り巻く環境変化などを踏まえ、柔軟に対応するとともに、必要に応じて見直しを行うものとする。
- (5) 評価結果を法人に通知する場合は、法人に対し、意見申立ての機会を付与するものとする。

2 評価方法

(1) 法人からの報告書の提出

法人は、各事業年度及び中期目標期間終了後3月以内に、当該期間における業務の実績を明らかにした報告書（以下「業務実績報告書」という。）を評価委員会に提出する。その際、各事業年度の業務実績報告書においては、年度計画に記載されている小項目などについて法人が行った自己評価をあわせて記載する。

(2) 評価の実施

評価委員会は、提出された業務実績報告書をもとに、法人からの意見聴取等を踏まえて業務の実施状況を確認及び分析し、総合的な評価を行う。評価は、各事業年度終了時に実施する「年度評価」と、中期目標期間終了時に実施する「中期目標期間評価」とし、それぞれ「項目別評価」と「全体評価」により行うものとする。

① 年度評価

中期計画及び年度計画に記載されている小項目、大項目及び全体について評価を行う。

評価に当たっては、小項目について病院ごとの実績がわかるように工夫し、病院の自己点検に基づき、法人としての自己評価を行い、これに基づき評価委員会にお

いて確認及び分析し、「項目別評価」（小項目及び大項目）を行い、「項目別評価」の結果を踏まえつつ、中期計画、年度計画の進捗状況全体について総合的に評価を行う。

なお、「年度評価」に係る評価基準等の詳細については、別途実施要領で定めるものとする。

② 中期目標期間評価

各「年度評価」の評価結果も踏まえつつ、中期計画に記載されている大項目及び全体について評価を行う。

評価に当たっては、当該期間における中期目標の達成状況について、当該期間中の「年度評価」の結果を踏まえつつ、評価委員会において確認及び分析し、「項目別評価」（大項目）を行う。さらに、「項目別評価」の結果を踏まえ、当該中期目標期間における業務実績全体について総合的に評価する。

なお、「中期目標期間評価」に係る評価基準等の詳細については、別途実施要領で定めるものとする。

3 評価結果の活用

- (1) 法人は、評価結果や勧告を受けて、法人として取り組む事項を明確にし、改善に取り組むとともに、その状況を評価委員会に報告する。
- (2) 法人の業務継続の必要性及び組織のあり方等に関する検討、次期中期目標の策定及び次期中期計画の作成に関して、評価委員会が意見を述べる際には、中期目標期間の各年度の評価結果を踏まえるものとする。

地方独立行政法人福岡市立病院機構 年度業務実績評価実施要領

平成22年11月10日

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会決定

地方独立行政法人法第28条の規定に基づき、地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会（以下「評価委員会」という。）が地方独立行政法人福岡市立病院機構（以下「法人」という。）の各事業年度に係る業務実績に関する評価（以下「年度評価」という。）を実施するにあたっては、「地方独立行政法人福岡市立病院機構業務実績評価の方針（平成22年11月10日決定）」に基づき、以下の要領により実施する。

1 項目別評価の具体的方法

「項目別評価」は、原則として当該年度の年度計画に定めた小項目ごとに、その実施状況について法人が自己評価を行う。さらに評価委員会においても評価を行った上で、年度計画に掲げる「第1～第4」の項目（大項目）について評価を行う。

なお、法人においては、年度計画の小項目を必要に応じて細分化することができるものとする。

(1) 項目別評価【法人による小項目自己評価】

法人において、小項目ごとの進捗について、実施状況をできる限り定量的に記載するとともに、次の5段階で自己評価を行い、判断理由を記載した業務実績報告書（別紙のとおり）を作成する。法人は、各項目に市立病院としての役割や年度計画の重要度合いを考慮して、ウエイトを設定するとともにその理由を付記するものとする。

なお、業務実績報告書には、特記事項として、特色ある取組、法人運営を円滑に進めるための工夫、今後の課題などを自由に記載するものとし、自己評価は、病院ごとの実績がわかるよう工夫し、病院の自己点検に基づき、法人として行うものとする。

評価5・・・年度計画を大幅に上回って実施している。

評価4・・・年度計画を上回って実施している。

評価3・・・年度計画を順調に実施している。

評価2・・・年度計画を十分に実施できていない。

評価1・・・年度計画を大幅に下回っている。

(2) 項目別評価【評価委員会による小項目評価】

評価委員会において、法人の自己評価及び法人が設定する小項目、ウエイトなどを総合的に検証し、小項目ごとの進捗状況について、法人の自己評価と同様に「1～5」の5段階による評価を行う。その際、単に目標値及び前年度数

値と当該実績値の比較だけでなく、計画を達成するために効果的な取組が行われているかどうかも含め、総合的に判断するものとする。

評価委員会による評価と法人の自己評価が異なる場合は、評価委員会が評価の判断理由等を示す。

その他、必要に応じて、特筆すべき点や遅れている点についてコメントを付す。

(3) 項目別評価【評価委員会による大項目評価】

評価委員会において、小項目評価の結果、特記事項の記載内容などを考慮し、大項目ごとに中期計画の実現に向けた業務の進捗状況について、次の5段階による評価を行い、考慮した事項及びそのように判断した理由も記載する。

評価S：中期計画の実現に向けて、特筆すべき進捗状況にある。

(評価委員会が特に認める場合)

評価A：中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる。

(すべての小項目が3～5)

評価B：中期計画の実現に向けておおむね計画どおり進んでいる。

(3～5の小項目の割合がおおむね9割以上)

評価C：中期計画の実現のためにはやや遅れている。

(3～5の小項目の割合がおおむね9割未満)

評価D：中期計画の実現のためには重大な改善すべき事項がある。

(評価委員会が特に認める場合)

なお、小項目評価結果の割合を算定するにあたっては、ウエイトを考慮した小項目数によるものとする。

2 全体評価の具体的方法

評価委員会において、項目別評価の結果を踏まえ、年度計画及び中期計画の全体的な進捗状況について、記述式による評価を行う。

全体評価においては、法人化を契機とした病院改革の取り組み(法人運営における業務運営の改善・効率化、財務内容の改善など)を積極的に評価するものとする。

その評価にあたり、項目別の結果とともに、主な取組や特色ある取組及び特に優れている点など特筆すべき取組について評価結果報告書(別紙のとおり)に記載するものとする。

また、評価の中で改善すべき事項については評価委員会の意見として評価結果報告書に記載するとともに、特に重大な改善事項については勧告を行うものとする。